



文會雜記

中

服部文庫
117
69
2





文會雜記卷之二

備藩

湯元禎之祥識

男明善子誠校

一千田玄智

祖徠此人ノタメニ
墓碑ヲ作ラル

殊ノ外嚴ナル人ナリ子息モ學問アリ此

人ノ世詔ニテ金華モ學問ヲシナスリト也ツ子ノ戒テ淨ルリ本又ハ咄本ナ

ヲ見セシス金華或時咄本ヲ書物屋ニカリテ玄関ニ見テ居ラタル所ヘ

戻ラタリカクシ得サリシカハ則其本ヲトリテ切サキ火ニクベラレタルト也

又碁ヲウツナト門人ヲ戒ラレシニ碁ヲウチシカハ其碁盤ヲ打クタカレタリ

穉明ノ子ユエ穉明モ此人ニ學タリト也

一群書備考ト云モノ春臺ノ所ニアリ制度ヲアラク出セリ重宝ノ書

ナリシト杜氏通典ヲ徠来ハ大ニ信仰セラレタルト也

一君脩云聖學問答上卷性ノ説ハノミコス下卷ハ面白シテ詔レリ
一子綽云徂来已前ノ人ニ長崎ノ僧玄光カ文章大ニヨシトナリ
一人ニ韻字ヲワタシテ詩ヲ作ラスイフ子式南郭ニカタリシニ南郭ソレハ
ヨカラヌイナリ詩ヲ得ツクラス人ニ作ラスルハシメカ發得メ作ル器量ニア
ラサレハアシト也又國字ノ書ヲ著メ教ミチヒク類ハアシト議論ナリ
南郭ノ了簡ハ第一等ノ人ノ自分ニロト見議ヲタテ學問スルホ
トノ器量人ナラテハ教ミシキト云心ナリソレユエ譯文筌蹄ナトモアリ
益ナキイト覺ラレタリ春臺ノ著書ナト尤心ニカナハストナリ
一子式華音ノイヲ来翁ニ問シニイヤクマアヒントント詩ヲウタハモツタイ
カアリテ子式ハ華音ヲシリタルホトニ詩カ上手ナルラント分思笑
レタリ子允又華音ノイヲ問レシニイヤク學問ニ華音ヲスルハ鬼ニ

金ホウヲモタセタル也ト云レタリト君脩ノ話ナリ

一黒田豊前守殿ト松平右京大夫殿ト不和ノオコリハ 憲廟ヘ献上ノ
石燈籠ヲ右京大夫殿ニテ出来ル時一所ト頼レタリ其後價問ニ
家来ユキケレハ右京大夫殿大ニ氣ニ入ラスソレヨリ不和ニナレタリ豊
前守殿右京大夫殿ヘ見廻レハ早拍子木打セ用モナキ他出ナリソレヨリ
自遠々シクナレリサテ 大御所右京大夫殿ヲ召テ 憲廟ノ殺
生ノ禁ノイヲ御尋ナリ右京大夫殿 臣ハ唯教ヲ行フノミ也黒田
豊前守度々諫ヲアケタル也又豊前守殿ヲ召テ御尋アリ度々諫
申テ御晩年ニハ大カタ御合点ナリシト申上ラル 大御所ノ御アツ
カヒニテ中ヲナホサレタリト也

一荀文若ヲ司馬溫公ハ殊ノ外ニホメテ管仲流ナリト思ヘリ如何

アルヘキトカク此人イハレ是非ツケカタシト君脩ノ説ナリ

一子新云護園隨筆ノ文ハ大事ニカケラレタルユエ少シモ語ノ疵ナシ弁名弁道ナトハヤリハナシニ書レタルユエ何レモ文字ヲタヤカナラスアリト論セリト君脩聞タルト語レリ又子綽ノ文ニモヲタヤカナラスカアリト君脩云リ

一春臺ノ上ラタル封事ノ稿ハ九麟少シ窺ヘリト語レリト也

一圃ノフヲ孔子ニ問申セシヲ一口ニ散々シカリ玉ヒ老農老圃ニト仰レタルハイカナルヤラン心得ラレス是モ周官ノ其一ノ職分ナレハツレニ知リタレハナテ思シカルヘキニ非ス如何ト君脩論セリ

一用字格ナトハモト第ニ等ノ人ヨヒキタル為ニナセルナレハ捨ツヘキニ非ス南郭ツレヲツシリ玉フハ第一等ノ人ヲ教シ為ノ心得ニテ第二等ノ人

ヲハスル料簡ナルヘシト君脩語レリ

一本多越中守殿ハ子亮君ナリ越中守殿ニテ詩會大久保山城守殿細川豊前守殿伊達遠江守殿ナトユカレシト也又近頃郡山ノ松平美濃守殿モ加レリト也松平宮内少輔殿モ若年寄若年ヨリ詩ヲ作

タニフ春臺ニ幼年ヨリ學ヒタヘヒタリ

一東壁ノ香州ノ贈序奇崛ニ出来タリト春臺モホメラレタルト君脩語レリ

一書物ニアマリ序ノ多キハメシアウナルト春臺云レタルト也

一春臺ノ校ノ世説ヲミルゴフニテ点ヲケシ墨ニテ点ヲウケ直シ朱ノ書込又墨ノ書込又青墨ノ批點アリ見事ナルト也

一春臺手跡ハ完翁ヲ學ハレタルトナリ

一杜預左傳ノ序依ヲ得タリト春臺モホメラレタル一也ト君脩
説ナリ

一唐鑑ノ議論ハ尤ナリト君脩ノ説ナリ東萊博議モアレカラス野
客叢書モ見識アリ鶴林玉露モ面白シ瑯琊代醉モ中ニ博議
ナリ湖亭涉筆ハ大ニ出来タリト君脩ノ説ナリ

一名物六帖制度通ノ一殊ノ外ニ春臺モホメラレタル也

一白虎通ニモ礼ノ一アリヨキ書ト君脩モ云リ

一春臺ノ門人ハ皆漢人ノ經術ニテ用タツホトノ一ハナルヘキヤウニ教
テタルカト君脩云フ又子式云春臺ハ甚嚴ナル人ユ立身子皆ヨクナ
リタチテ人呂ヲトナシキオモ不才モソレナリニ人柄ハ見事ニナリ名ト詔
レリ君脩云トカクオヲ育スル人ヲホメタツルニアルヘシト云リ

一君脩云春臺ノ方ニ梁書ナトノ抄出アリシカレハ大カタ二十一史ヲ春
臺モ見ラレタルナルヘシ予モ是非二十一史ハ見タキナリト學者ノミテ
叶ハヌ書ナレハシト君脩云リ

一山中鹿之介詞堂記ノ南郭作ラレタルヲ春臺モ大ニホメラレタル也
一夷長云 醫學入門ハアメリ正 過タリ萬病回春ハトリア

ツメ難敷ナルモノ故ケツク能リヤウチヲシタルト覺ユ又千金方ナトハ医者
ノ下手時ノ書カ又云素靈ハ虛理ノ書ナリソノ上療治ノシカタナシ
何ノ用ニモタヌナリト又云腫氣ニハ黒大豆ヲ細カニキサミテ一味用ニ
極テヨシトナリ又云藥ノ方ノ始リハ今ノ妙藥ノ一味ノ能キクアルニ
何カハイサイシアハセテ方カ立タルモノナルヘシ古方ニカハリテ療治ヲスルハ下
手ノ一ナルヘシ梅花燕盡藏ヲモ見タリアラ療治ナリトカク後藤ハ

上手ナリト心服ナリ但シ三十六味クスリハ餘リニ一タラスヤウ也又今ノ人參一タヤニタヲ用ルニ外ノタスリノ量目ツモリト見エタリ傷寒論ノ方ニ今アノミテハ用カタシト也トカク医者ハ本草藥ノ效能ヲ能知ラスハ用ニ立スト也神農百草ヲナムルト云一時ニハシル一アヲシナ也又アノミニ氣ヲ付タル医者ハ療治下手ナルモノ也又眼ハ心ニ屬スルナト配當ノ説タヒモナキ一也泄瀉ヲ予憂ル一ヲ云鶏ノタニコニ水ヲ少シク入テフツクニシテ食ニソヘスシテタフヘシト云リ

一大學中庸ノ序至テヨク出来タル文朱子ノ傑作ト春臺モ云レタルトナリ

一春臺云東涯ハ至テ溫厚ナル人ナリ仁齋モシカナリ但仁齋ノ眊子ノ明ナル一所謂眼光射人也學問ニテ子リツメテ徳ヲナシタル人ト

覺ユ定テ圭角アリタル人ナラメ隨分ヤハラカナル人ナレトモキハメテ英氣ナル人ナリト語ラレタル也春臺モ深ク仁齋ニハ心服ナリ但来モキハメテ人極ハヨク人ナル由春臺南郭子式ヲソロヘテ云ケリ二十五ニテ田舎ニナンキナルツタナシタルユ声色ノ好ナト曾テナシ唯書ヲヨムヨリ外ノ一ハナキ人ナリシ由隨分行義ヨキ人ナリシト也

一類禮ト云モノ魏徵作りタレ氏絶タル由困學紀聞ニ見エタリ好禮君子ニヨミセ度ト君脩ノ説ナリシカク禮記ヲ本文ニタテ論語家語荀子孟子等ノ古書ノ内ヨリヌキ出シテ傳ヲツケタキト也

一四家集ノ韓柳ノ選アミリニアラキカ韓カノ碑文ニ至テ面白キカヨホトアリ入タキ一ナリト君脩ノ説ナリ

一春臺ハ日本ノ繪殊ノ外キラヒナリ唐繪ノ掛物四五幅アリ前ノ

家ハサシクノアリキ家居ナレトモ長崎ノ一枚繪ヲ掛物ニシテコレモ日本繪ヨリハミサレリト云レシト也

一世説ノ謝靈運カ詞將無ト云一將無ノ字ヲノケテ見レハヨク通スルト思ヘリ南郭モ左云レシトナリ

一五雜俎ノ唐本ニ切支丹ノ法ノ一少出タリ今ノ和刊ノ本ハ刪除出サストナリ

一春秋ノ胡傳ハ畢竟宋ノ時ノ諫ノ理窟ヲ可言為ニツクレリ夫ハ多ク激論アリ必シモ胡傳ノアリキニモ非シト思ヘル説ヲ君脩ニ告レハ君脩モ之アリト見分同ス

一南郭ノ云祭兒恭文モ散文ニテ韻ヲフミサリシニ韓カ郎ヲ祭ル文モ韻ヲフミタルユエ韻ヲフミタルト云レタルト君脩云リ

一杜注辨誤ノ中ニ面白キ説メウラシキヲモアリト春臺モ云リト君脩詒也

一君脩ノ大父ハ松平紀伊守殿ニ^{後御老中ニ}幼少ノ時讀書ヲ教メキラセシ

トテ自分ニ素ヨミヨリ讀習タリト也紀伊守殿後ニハ何ニテモ書ヲ

ヨク見玉フホトノ學問ニナリタミ子允ノ幼キ時ニ父常ニ軍書ヲヨミ

セラレシ故子允モ古戦ノ物語嗜好ニナラシト君脩語リス

一春臺ハ玄関ニ鎗ヲカケ置ヤリ常ノ奉公人ノ武士ノ如シ死近ニ

至リテモ浪人ノ葬礼ニ鎗モタセタル例アラハ持セ度由云レシカハ聞令

タルニ浪人皆葬礼ニ鎗持ス由ニテ春臺葬ノ時ニ鎗持セラレタリ

南郭ハ物スキアリテ屋敷カニ庭ノ景竹樹ナトウエラレタル所風

流ナリ

一春臺云徠翁ノ云レタルトテ尸ヲハ度、勤シカタキユエ先下ニカタキヌ帶

又上キ下キトシテ其上ハ尸ヲ子サセテサテ帶ヲハシテタミリ袴ヲキスレハ
尸ヲ動ス一唯一度ニテスムト也春臺ノ葬モ左ヤウニシタルト也サテ
アラヌカヲ大ナル袋ニ入ツレヲ胸ノアタリニオキテ手ヲハシテツレヲ
抱クヤウニシテ大ナルフロシキニ尸ヲツミタルト也其ハリヲハ小袋ニラ
ヌカヲ入テツミハレ外櫛ノ内ニハ炭ニテツメタルト也春臺病氣大切ト云
五月ヘ入テ子才直ニモハヤ後事ヲ計リタヘト云ケレハ臺翁モ尤ナルト
云レテツレヨリ遺言多クアリシトワ葬礼ノ時上下三百人會葬アリ
シトソ曲江ナトハ病中ニ夜四ツミテツミ語ラレタルト也又毎日ノ見廻
五十人モアリシトソ葬ノ時南郭子式モ行レシトナリ

一韓祭十二郎文雋ニ入レタキト君脩モ思ヘリ

一徂来ノ棺ノ中春臺ノ棺ノ中皆木劍ヲ入ラレシト也

一南郭ハ物スキアリテ唐繪ノ掛物ヲカケ書タナナトモアリスナナニ花ヲイ

庭ニモイロクノ物ヲウエラレタリ甚風流ナリ忍海上人ノカケ物モ掛ラル、

ト也凡講書ノ金百五十兩モ一年ニ納メラルト也處士ニアノ如クユタナル

クラルナシ春臺ハ古講ヲセラレス然トモ産ヲササムル殊ノ外ニ上手

ナリシユエ左ノミ困窮セラレス前カトハ殊ノ外ニ困窮セラレトソ黒田豊前

守殿ヨリ古ノ俸米ヲ下サル後減ス又辞セラレテ俸米ヲサシ上ラレシト也

一雜兵物語ハ高崎侯松平右京大夫殿ノ親父因幡守信興作ノヨシ

右京大夫殿ハ憲廟ノ時用ニタル人ナリ

一所以ノ二字圓機活法ノ序ニ所以ノ字ヲオキテカハ所以活法為活法也

トアリ如此書タル孔穎達ノ疏ニ此書ヤウアリト春臺云レタルト也

一春臺病中ニ堤文右衛門名有文字仲大鹽與右衛門名良字子頭君脩東都処士

ナトハ大カタ隔日ニ行タリシト也

一南郭ハ博物ナレトモ博物ヲ外ヘ出サヌ人ナリ

一夷長云江戸ノ風俗女ノクイサツ極大ト云ヤウナルハスハナル姿皆淫
樂ニテカヤウニ衰タリ其上ニ困窮長シキユエ旗本ナトノ風俗言語
道斷ニナリタルト也

一南郭モ春臺モ弟子ノ吾物スキノ通ナラハ氣ニ入ラスツレユエ弟子
ヲ箱ノ中ヘ入テ置度心ナリ徠翁ノ料簡トハ大ニタカヘリ其中ニモ南郭
ノ社中トリワキ南郭ノ子ヲシテメツタニ高ク標スルヲヨキト覺ヘ不
學ナルヲモ不知蒙求世說唐詩選ナトニテ學問ヲスルト覺ヘタル
苦々敷ナナルヘシ

一文選章句ニ帙アリ段落ヲシテ其間ニ注ヲ入タリ注ハアラシ字

ノ句豆モイレ音注モ入レタリ善注ハカリニテ五臣注ヲトラス

一如辰云ワラ筆ハヨクワラヲアラヒテ酒ニ一夜ヒタシカロク能クウチテ又ヒタ
シ又ウチニ三度メ水ニヒタシサテアシキエタヲモキテヨキハカリヲ揃テユフト也
西京ニヨキユヒチアリシカ今ハナシ又唐繪ニハワラ筆ヲ用タルヲ見タル
一ナシ大カタハ探幽ヨリ始レル歟又唐繪ハウラサイシキ殊ニ念入タルト
ナリ雪舟流ノ画長門侯ノモトニアリサレトモ下手ナリト語レリ

一春臺ハワサヲヨクナセリ来翁モ兵法律 ナトナセリ東涯ニハワサ

ナシ春臺ハ兵法ヲ云一一言モナシ

一元鱗云春臺ハ每晚酒ニ盃ヲ飯ハカロクモリタルヲニハイ常食ナリ
夜長キ時ハ五ツ時ニ夜食又酒ゾシツナリ酒ハ三盃ト定ラレタリ
煙草ハヤハラカナルカ好ナリトウカラシモ甚好レシト云リ

一春臺八法帖ヲモタレス草書韻會ヲハ時ニ詠メテ説キタルトツ又
字彙ノ小本アリテ平生坐忘ヲナサシサリシト元麟語リ

一春臺ハ覺彦比丘ニ學テ密教真言ノ一ヲ聞タヘリト子亮語リ又
一春臺手習ノタメトテ詩經ヲカレタルカ至極ニ見事ナリツサハナル
表帛ヲツケ置シタルト也五經大カタ皆書ルヘキツモリナラント元麟語也

一子亮曰白石ハ英断ノ人ナリ朝鮮來聘ノ時ニ殿中ニテ老中土屋
相模守殿ノ禮拜ノ失ヲメアタリ処メラレタルニ土屋殿赤面セラレタルト
也朝鮮馬場ニテ韓人曲馬 文廟御羽織袴ニテ上覽アリ
且ツクリ頭巾ヲ召サシシト也舊例ハ古ナカリシト也コレモ白石ノ
意ナリ此時韓使ヘ多葉粉盆銀管漆出ケル其坐ヘ白石出
ラレケル韓使モ度々白石仕負何カナト存セシ処ニ多葉粉盆ヲ押退

那用此煙管熏我錦 之腸ト書テ白石ニ見セラレハ白石直ニ筆

ヲトリ試用此煙管融我銅鐵之腸ト書テ韓使ヘ見煙艸盆
ヲ引寄一服吸ハシト也東野語リケルト子亮ノ語ナリ

一白石來覽異言ク作ラレタルハ西洋天主教ヲツタヘニ來リタル人ニ對
談アリシ故ナリ其人ヲホメテ聖人ノ温良モカクヤト云レシトツ白石骨折
リテ作ラレタルヲラシタ風土記ト云モノアリト子亮語リ又

一子亮云矢寄藤五郎トハヒタト相見セリヨキ學者ナリ書物モ大分
モチタリ名山藏ヲモ持タルト也

一元麟云春臺ハ赤馬石ノ硯ナラホリタルヲアツラヘヤリテ持レタリ
ツレニテ五色ノ墨ヲスラレタリト也

一元麟春臺ノモタレタル希逸口義ヲ觀 コレモ朱ニテ塗抹モアリ

書込モアリ

一鳥石ハ廣澤ノ弟子ナリ文微明ニ似セテ書キ石刻ニコシラヘテ手ヲ
下シテ廣澤ニ見セタル時文微明ニ疑ナシシカモ能出来タリト廣
澤極メラレシカハ鳥石ヤカテ其石刻ヲ持參シテコレハ余カ書タルテ
候ト笑シカハコレヨリ廣澤ト中不和ニナリタルト也

一文廟ハ殊ノ外ニ神祖ノ遺令ヲ大事ニナサレタル君ナリト子亮聞
傳ルト語シリ

一合引コレテ後大御所御代朝鮮來聘ノ時イテ御尋問
アリシカトカク云ズ大久保山城守殿門人ユエタノミシカレトカク取合
スレテリニモカミテ尋玉ヘトモ老テワカキ時ノト少モ覺申サヌ又著述
ノ書火災ニカレリトテ一言モ申サレサリシト也

一十一月十四日芙蓉館ニ至ル南郭云諸子ノ文ノ異同ヲアツメルイ自分
ノ學文ノタリニモナルヘシナルホト作ラレト也外題ハ諸子同事異ヲ
ナラシメシ史漢合篇ト云モノアレトモコレハ二ツノモノヲ合スルナリコレハ色ミ
ノ物ヲツムルユヘ合トモ云カタクカト也

一南郭云榮花物語ハ錯簡ノミニ非ス錯卷アリツレユヘスニストナリ

一南郭云老子ノ注トレカ老子ノ意ヲ得タルトモ云カタル其中ニ玉璫
注何トヤラン簡古ニテ見ヨキヤウニ見ル也然ルニ字ノ脱誤多シト中華
人モ跋ニ云タルニツノ脱誤ノカミヒナシニ和訓ヲツケタルユヘ埒モナキ點ナリ
點ヲ削去リ脱誤ノ字ヲヨク考テ見ハヨカルヘシト也

一南郭云中華ニテタトハ卞和々玉ノ故事ナト云フラシタル日本ニアル談
議艸子ノ類ナリ日本ニテ曾我物語ナトニ色ミノ引コトアル皆談議

艸子ヨリ出セルト見ユ談議艸子ヲ見タルハナケレ古ノ採子シカ
ナリ中華ニテモ戰国イロク咄ニテフシタルヲ人ニ咄シテ云傳ヘリシヲ
上手ノカ書タルハ面白ク下手カ書タルハナリツレユヘ同事ニテ人ノ
名ナト違タルモアル也ツレユヘ説林ヲ韓非作り淮南ニ説山アル類皆談
議艸子ニテ游説ノタリニシタルナリト覺ユトナリ

一世説ヲススルハ其時代ノ詞ヲ合点セヨ國家ノ事ト云ヘハ身タイト
云一又謝安カ人事ト云シハ則人ノ一ニテ自分ノ上ハ如何ト云ユヘ
謝安カ人ノ一ニハカマハズコナノ庭ニヨキ玉樹ヲハヤシタシト云ユナリ
其時代ノ理窟アルハヒト其言ノハヤリ詞ヲヨク案シテススヘシト也
一南郭云中華ニテ軍ノ一後世ノ文ニミヘスツレヲ詳ニ書ケハ小説カ
リ三國志衍義ト云俗文ニナルユヘナリト也

一義公ノ大日本史ヲ作りタマフ其物入ニ八万石ノケ置タマフトナリサテ
儒者ヲ諸方ヘヤリテ名山藏ヲ探リ京ニモ數人遣レヲキ大切メ
書ノ寫取タマフ錄倉ノ和田ナトヲハ將軍家臣傳ト云モハ
皆シロニテ入タマフ曾我兄ハ弟ナトヲハ孝子傳ト云列傳ヘヒツニ
入玉フ皆義公ノ物スキナリハ幡ヲ武内ノ子ナルヘシト思召タマフハ
宋學ノ理窟ナルハ志義公ノ世ニ出来ヌ後ニ出来ル筈板行モ
出ルト云沙汰アリト又又禮儀類典五百卷コレハ元來禁中御湯
殿日記ト云モノアリ中華ノ起居注ナリ官女ノシルセル物ナレトモ
天子ノ直筆同シト云ホトノ大切ノモノ也天文ノ乱ノ頃ニヤ少ナリ
ウセヌ火災ニモヤナレタナクナリ禁中ニハツキカタシ然ルヲ尾張
源敬公イツカタヨリカ取出シタマヒテ寫ヲカレタルヲ義公カリタマヒテ

ソレヲトタイニシテ作りタマフ由日本ノ典故ヲハ各セルモノ也 公方ヘモ
進セラレシト也 霍源帝御覽成サレタルニ 禁中ニナキ一皆其書ニ
出タルニハ大ニ御賞美アリタルト也此ノ御湯殿日記ハ外記ノシルセル
書ニナキ一ヲモ日記ノ方ニアレハワレカ據ニナルトナリ今ハ大嘗會即位
ナトノ儀式大カタ礼儀類典ニテ考ヘラルカト南郭語リタマヘ

一世説逸ニ注ヲ入レハ宜シカラスト南郭云リ

一南郭ノ方ニ儀礼ノ會アリ注疏ニテカケテ吟味ヲスルト也コレハ外ノ
方ニナキ一ニテ近來此會初リタル由三礼図ハ聶存義カ時ハサイシ
キニタルヲ後ニ器物出来タルトナリ大タイハヲシテモ知レトモ先ニ礼
ノ図モヨキモノ也外ニ儀礼図解ト云モノアリコレモ會読ノ節トリ
合セテ見ルトナリ儀礼ヲヨミクダタト云フハ誠ニ龍ヲ屠ル伎ナレトモ

好古ノクセニテコレヨリナカラヘテヲラハ三禮皆スヘキト思コト也又賈
公彦疏ナト筆ノ無調法ガクミニシタル所ヲ朱子ノ經傳通解ニテカ
ミフタキタリサテ 朱子ノ學問丈夫千萬ナルト思ハル也後世理學
家ノ中、及ヘキ所ニ非スト也林希逸カ考工記ノ解モアリコレモ見合ニ
スヘキト思トナリ又明朝ニテ拳業ノ文ヲ書クニ皆朱注宋學ニヨレトモ
禮記ハカリハ鄭玄注ヲ用ユトナリ古注疏ナラテハ禮記ハスニスト南郭
説ナリ

一トカク書ヲヨムニ其時代ノ一ヲトクト吞込子ハスニスト世説ナトノスニスト
云モ皆其時代ノユキカタ風俗理窟アヒ訶ツキヲノミコメサレハスニスト古書
モソノ通りナリ左傳ナトヲ見テモ今ノ時代ノ理窟アヒニテハスニスト卿大夫
ト云モノナトハ公侯伯子男トツリ合テ公侯ニスコシオトリタマヤウナリ

儀禮ナトニテ其時ノ禮法サバギヲ知ラ子ハ左傳セスス史記ハ讀易
キモノト云トモ索隱正義ノ説以テノ外アシキユニ結句本文スニヤ
ウ也顔師古ノ漢書ノ注ハ甚ヨシト南郭ノ説アリ

一春臺葬禮式

屬纊

楔齒

白著ヲ折テ用ニ

銘旌

紅ノ切ニテ四尺余作ル周尺六尺也

沐

髮ヲ結
鬚ハソラス

浴

服

下帷子上帷子下帶上帶
麻上下扇子木釵印石

充耳綿

幘目帛

布ニ綿ヲ入緒ヲ角
後ニテ結フ

握手巾

畏足巾

飯含

白米少
茶巾

幅巾

飲衣

八幅

紉袋

大小三十余
ホウレイワタ

七星板

瓦棺

蓋

釘ヲ打棺ノ口ハカリカ子ニテトデ
シツクヒニテヌリチヤシヲ流ス

朝祖

神板ヲ床へ出記ヲ
其前ニ居ル

發引

棺

外覆白布
ノ袋カクル

刀

白布ノ
袋カクル

鎗

同前

狹箱

同前

杖

同前

榔

榔ト棺ノ間炭ノ粉ト石灰ニテ
ツメ榔ノフタヲシテ石ヲナラヘ

覆

手輕小
家作ル

護喪

稻垣茂左衛門

名長章
字輝明

赤星大四郎

名國香
字子蘭

原養澤

名尚賢
字子才

大鹽與右衛門

名良
字子頭

植村慈郎

名正直
字希汲

松崎才藏

名惟時
字石脩

宮田壽安

名明
字子亮

上野佐次郎

名俊
字君則

外山元庵

名行賢
字莊敬

澤村治右衛門

名德守
字子昭

主賢

太幸伴十郎

名方
字義卿

吉田一端

名成美
字子休

司書

赤川瑞仙

名思近
字子遠

横井丹榮

名光業
字子曄

井田元東

名永貞
字子元

市野三右衛門

名尚明

司領

堤文右衛門

名有
字有文

近田喜藤次

名尚明

一南郭云世説ノ註ニ列子ヲヒキタルアリ今ノ列子ノ本ハ大同ニ力

ラス今ノ列子ノ本ハ甚讀易ニ然ハ古書ノ今ニ傳ル物後世ニテ文字ヲ直シタルモ知レスト也

一南郭云世語ノ注ヲスル時日本ノ古書ヲ考ヘシニ一行ニ脱誤幾ツト云フヲ不知寫本ニテ寫傳ヘ誤レルナリ八系圖ナトモ真偽ニシハリスミスレユ大抵考オキタリ實録ナラハ又マヤカニ吟味ノシカタモ有ルキコトナリ

一十月廿五日美藻館ヘ暇乞ニ至ル以下南郭ノ咄ナリタトハ辨名トク違モアルヘケレトモ六經古書ニ仁ト云類ヲハ一所ヘアツメテ禮義ノト云類悉書出メ性理字義ノ如キ一書ヲナシ置タラハヨカルヘシト思フ人ニハ渡シタルニ其ナラスカヤウニシタキ也ト語ラレタリ

一南郭云墨帖モ但来ノ頃ナトセワヤカレタレ氏中華ノ如キ法帖ハ出来

ス廣澤ナトモセワヤカレタレ十分ナラス近來ハ上手ニナリ烏石弟子ナト色ミノ法帖ヲナセリ長門ノ大夫毛利宮内ノ方ナトニアシタル法帖ヨク出来タリ文雅ハ大ニ関ケタルニ印書ナトホル一昔ハ下手ナリシニクカンニテ珍シカラヌホトアリサレ氏著述ト云モノハ難キ一ニテ大著作ノ士ハ殊ノ外少シトナリ

一南郭云日本ニテ韓ノ流ノ文ナシ田大心ハミコミヲ韓トタテタルナリ

一朱子學問サテ博洽精密及モノキ一歷代ニスクナキニハ昔ヨリ

ノ學問朱子ニテアトカタナク押消サレタト覺ユト南郭ノ說ナリ

一佛經ハ文章拙シモト梵語ヲ漢語ニナシテ兵ニニ記ルニハ文章意ナルニ非ス其中ニテハリヤウゴンユイニ少シ譯者ノ心文ニアルニハ見レタルニテノト南郭說ナリ

一俗語ノ一モ長崎ニテ口ヲ通スルヤウニナラハスハ學問ノ用ニタヌ一ノ學問ノ用ニ立ヘキト思フト日色總臨仙掌動ナトフツカハ少ニナシナト云一俗語ヲ用ユ

一春秋左傳ノ一徂來ノ說書曰トアルハ後人ノ附會ト見ラレタル如何覺束ナシイカ、アルヤラレ春秋ノ一ハ何トモ吞込カタキト南郭說一徂來ノ絶句解ノ字ヲ添タシテヨクスムヤウニ注ヲセラレタルモト四書ノ文林貫旨ニ大學的之書ナト、俗語ヲモ入レテサリト通スルヤウ注ヲナシタルヲモトタテニシテ解セラレタリト南郭語ラレケル

一明人ノ記ニ文章名家ト云ハ古今二十人ニ過スト云リ韓柳ナト云入タルモ之然レハ歷代ノ中二十人ト云ハ殊ノ外ニスクナキ一ナリ大著作難キ一知ルヘシ徂來ノ文ノヤウナル文明人ノ中二十人トハナシ空同ナト一

一番ニ文ノ唱へ出セルユヘヨキト云一ナレハ詩ノカタニサレリト南郭ノ論ナリ一于鱗文ノ流中華ニテ書タルタヘテナシ徐中行ハ于鱗流ヲカキタレトモ少ヤバラカニ其外ノ諸子モ于鱗流ヲハ得カス明末ニハ于鱗^ルヲ^ルシ^ルル文人多シイカニモ于鱗カ文モアリニ古書ノ字ヲカ^ルタル処俳ニ近キ所アリサレトモ古書ノ句法字法助語ノアンハイナトヲヨク吞込ミタルモノニヨクク氣ヲ付見ハ文章ヲ為ニ大ニ然ルヘキ一ト南郭說ナリ

一リンノシタルヤウナル文ハ東坡ナリナシ、ツメタル論ハ允明ナリ歐ハ何トナクヤワラカニ書タル物ナリ韓柳ノ外ニハ歐蘇誠ノ文章ノ士ナリト南郭ノ說ナリ

一伯樂天ノ詩至テ上手ナリ一愛メ一流ノ詩ヨツクヒリ樂府ナトノ

事情ヲ云タル処類罕ナリ長恨歌ヲ傑作トスルモフニヘアルヲ古事
古語ノ上ヘアラハサス作レリト南郭語ラレケリ

一俗語ハ字ノナキ多シ声ヲカリテ字ヲウクレリ日本ノ奴僕ノ詞文字
ナキ人ノ詞テ云ナラハシテヨク通スルアリツレヲ字ニ直時声ヲカリテアテ
字ニカクト同シ一ニメロヘニ何ト云字ヨカラントテ声ヲカリテ字ヲウメナリ
ソレユヘ俗語ノ義字書ニ注ナキナリ嘖字ナトツヅノカス一モト左傳ヨリ
出タリ俗語モ古語ヲフニシテシタルアリ又字義ノ轉變セルアリ又
声ヲカリタルアリト南郭語ラレケリ

一于鱗詩ハ學問セメニシテ作りタタルモノ故タトヘハ五首モ作りタルニ
二首カ三首ハスケレテ出来テ唐ノ詩ト見ルナリ残りハ大カタ唐ト見
ス唐ト見ヘタハ學問セメニシテ作りタルニ明人ノ詩大カタ古ノ通ナリ

隨分巧ニナリアハセ故事古語ヲヨク云カヘタル至語ノ妙境ト見ラルナリ

鱗カ作ノ中ニテモ不得意アリ得意ノ詩ハ左ヤウニハアラス盛唐ノ詩如ク
ナリナリ絶句ハ學問セメニシテハ猶ニ宜シカラスツレユヘ學問丈夫ナル人存
外絶句ノ下手アリ又學問モナキ人ノウカト作りタルニヨキモタメ
アリト南郭ノ論ナリ

一南郭ノ論ニ文ナラハ文詩ナラハ詩専門ニヨサメテ吾得手ヲシタキ
一ナルニ両手トモトリハツサヌヤウニトスルハ少下手ノ見識ナリ又詩
諸體サミアル中ニ長短得失アリ唐人ナトハ不得意ナル體ヲハ
曾テ作ラス唯得テタル休ニヨ作り明人ナトハ万能ヤトテウニナリ
テ諸體ヲソナヘサレハ物タラスト思フ勉強シテ得手ストテモ作ナリ
ツイニマノ境ヲ見破リタル詩人學者ナシコレヲ看破スル見識ハ上

等ノイナリ人ハトモ云ヘトカクニ吾得タルイヲノミナスヘキイナルニ何モカ
モセント云ヤウニナリユキタリ心得アルヘキイニコソト南郭論セラレケル

一唐モ段成式ナト博物家ナリ宋ニハ猶多シ元ニモテワカウ録ヲ作ル陶
宗儀ナト博物家ナリ明人尚多シ又古書ノイヲ談処モナキヲ推
量ニテイロトニフシスベシテスル極メテニナル人多シ予ハ極メテニナルイ
嫌ナリト南郭語ラレケリ

一南郭云今ノ学者朱氏ノ書ナトハ見モセス左ヤウノイニテハ用ニタハス
学問ハ何モカモトリコミタタハヘ置タルカヨキニ朱学ノ書ヲモ随分見ル
ヘキイナリ左ナキハ今学者ノ弊ナリト語ラレケル

一南郭云烏石カ艸景ハ草書ニテ字景ノ体ニ編集セリ書未タ出来
一子允ノ語リニニ京極縫殿ノ家来三田茂左門カ妻ハ井上儀左門カ女也

名ヲ通ト云リ幼時ヨリ縫殿ノ祖母養性院ニ仕ヘ学文ヨクメ手モカキ
タリ養性院光林寺ノ万慶和尚ヲ尊崇シ通ヲスメテ頭ヲオロセヨト
アリシ時アミテ奉リシ歌

常ニゆき通るはしやうとて欠のあまのふかふかこのまめ

カクテ浮屠ヲ辞メ三田氏ニ嫁シケルナリ

一荀悦漢紀甚ヨキト春臺モ云レタルトニ徠公翊モ漢紀ノ中ニ諸書ヲヒキ
タル所殊ノ外ニ面白シ詩書古傳ニ入シ度由云レタレト先ツレマテハ及
カタレ西京已上ニイタスヘシト春臺云レタルトナリ

一春臺ハ後漢書ノ注宜シケウク漢書ノ注ヨリヨカルヘシト云レシトナリ
一鄺道元水經ノ注殊ノ外ニヨキ物記ナトヲヲタルニ益アルト春臺
殊ノ外ニ賞美アリシト君脩ノ話ナリ

一易蒙引甚宜シト春臺云レタリト君脩語ナリ

一春臺初テ徂来ニ相見ノ時護園隨筆ノ寫本ヲ出メ見セラル即無有ノ二字アルヨリ英ノ字ノ用ヤウヲハヤ難セラレタルトニサレハ難ズ一春臺ノクセナルヘシト君脩云リ徂翁ハ英ハ無ナリト云レシナリ

一南郭ハ徂翁社中ニテハ文盲ナルト云沙汰ニテ文ヲ作ルテツシテハ文ヲアラハルト云評判ナリ徂翁ノ喪ノ時ヨリ合レシニ礼記ノ正義ニ見ヘシ一アルト南郭云レケルニ皆合点ニイラスト云南郭ヲミ返シテイヤ一作日見タルト云レタレ皆諸名子合点ナカリシ程ノ一ナリ然トモ南郭師學問ノ丈夫サ徂翁ノ社中ノ諸君子ヲイツクヘキヤウナシ

一三國志注世説ノ注ニ及スト云ヘ氏甚ヨキ注ト君脩説ナリ

一八脩ノ章是可レ忍ナリト云春臺ノ注吞込カクシト君脩ノ説

一宋已来之儒者ノ議論時制ト情トヲ吞込スニ古人ヲ論シタルモノナリト君脩説ナリ

一齋家宝要ハ春臺殊ノ外尊崇ノ書ナリ諸子ト會アリテ読レタルト君脩語レリ点殊ノ外ヨクツケタル物東涯ノ点ナルヘシト云リ

一書經旁通同通考ヲ作ル學者ヨキ學問ナリト君脩語レリ

一松平紀伊守殿ノ儒臣松寄祐之字多助歴史徴七十卷ヲ作ル祐之ハ号蘭谷此書舛綱ヲタテ眞字ニテ書目ハ日本ノ古書ヨキリアハセテ參考セリ紀伊守殿京都所司代ノ時ユヘ公家衆ハ段御頼ニテ種ノ古書ヲトリアツメ申サレタルユヘ出来タキタルト也未脱稿面没今奥平大次郎ト云人校正シテ淨写ニカルト君脩語レリ

一楊時喬周易全書十冊餘アルヘシ明末人ナリ易ニカル歴代ノ説ハ

悉収載易ノ本文ヲモ古ニ復ストタテ篆文ニテ書タリ至極ノ珍書
尤朱義ノ拠トスレトモ又餘程異同アリ釋明ノ所藏ナリ

一君脩云春秋ヲヨサメシトナラハ三傳ト胡傳トヲ合テ光異同ヲ見ル
ヘシ今ノ大全ノ和本ニ三傳ヲ一所ヘヨセタルカアリヨキモノ也ト語レリ

一春臺ノ會業ハ下見一篇會讀一篇又一篇見ラレタルト也元麟
ノ語ナリ

一徠翁讀荀子百張ハカリアリ又葬ノシカタノヲ徠翁ノ礼ヲ折シテ
書レタル一本アリト元麟語レリ

宝曆三年癸酉東役是ヨリ已下

一如辰云唐本三才圖會ノ中ニアル人物ノ面貌ヲ證拠ニトリテカク

ヨリ外日本ニテシカタナシ張子房ナトノ上代ノ繪ノ後代ノヨリ今
日本ニ傳リタル甚少シ人物モ元明ノ繪ハヨホトアレトモ古キ畵ナシ
トカク明人ノ畵ニ関羽多シト云是ハ日本ニテ觀音又ハ八幡大菩薩
ト云ヤウニ明ノ民ノ尊尚スルヲ故トカク関羽ヲ繪像ニ書タルナラメ又云
探幽君臣圖像ヲ書タルモ三才圖會ヲ證拠ニシタルト語レリ

一荷蘭臺集二稿五冊初稿七冊ト荷蘭子三冊ト合十五冊ノ本ニ

一快トシ神戸彦ノ藏板ナリ二稿アラハ一覽スル西記トテ平安
ヘ在番ノ道ノ記ナリ其外サノミ面白キ文ナシ詩モ初稿ノ通リナリ

一四月七日芝ノ泉岳寺ヘ御代香ノ序芙蓉館ニ至リ先生壯健ナ
リ中西多門ニ女ヲ女セテ妻子ヲ托スヘキ約束セリ夏カタハ先生ノモト
多門ヲ引ヘキト先生ノ物語ナリ先生云周礼儀礼會讀スミタリ

今ハ礼記半分ホト會読セリ儀礼図解ノ朝鮮本ヲ或諸侯ノ
モトヨリ借りヨセテ會讀シタルハ兼テ進退周旋ノムツカキ韓退
之モキヲヒノ儀礼ナレハ大カクヨクスキタリ儀礼図解ヨクシタル
モノナリ又朱氏ノ經傳通解隨分宜ク覺ユ朱氏一流ノ學問ヨ
クミタル所古今ニナキ學問ユヘ百世ノ下ニテハカサレタリト覺ユ尤朱氏
流ノクミタテノ宋學聖人ノ心ニカナフヘキ非ス然トモトユニテモ已カ流
ニクミ立テ引合セテアフヤウニシタル所ヨソロシキ一トカク礼ノ注疏ノ
文字ナカヒモ餘ホト多シワレユヘツキ合見テヨホト改タル七經ニ孟
子モ其考證ニシタルナリト也

一南郭云絶句解考證社中ニテ出来テ其首ニ題言シタルトナリ
一南郭云古書ヨクシレハ隙トリ著述カレハ五三日モ手ニトリテ読書ノ

ハカユカスコノ所サテニ學者ハ誰モサ一ナリトナリ

一四月七日君脩此役初テ相見ス于子新論語考ハ雍也ニテ出来ナル
由キ、ケリ雍也ニテノ書ノ本ノリトカタル刊ハ三卷出タルヤ辨博ニハ
驚タルト一ナリ

讀

一君脩云二十一史大抵ヨミタリコレハ使番ユヘ郎ニツメテ居ル内廣間カ
タハラニ展風カコヒニテ休息所アリソレニヒキコミテ讀ムユヘ内ニ在ト精思
セル書ハ説ス周書北魏書ナトハ僧ノ大盤若ヲ轉読スルヤウニヨミタリ
考ヘミルニ古人モ南北史ヲハヨミテ南北朝一代ニノ史ヲハヨミスト思ハル
王元美宛本餘篇ナトニタメクヒキタルアリ元美カ謝 淵ナトノ如
キ古今ニスクレタル博識ノ人ハタニクヨミタルモアリト覺タリ其外ハシ
カラスト思ハル、一ナリ

一老子是正一卷新刊寛延辛未仲夏朔旦日東張靜撰注甚アラシ老子ヲ

兵法ノ書トミタテ、注セリ首ニ平安伊藤長堅序アリ其序ノ趣意ハ老子ト云人昔ニナキ一ニテ莊子ノ寓言ニ出タルリ論語ニ古人ヲ称シタヘルニ老子ノ名ナシ又老子ノ文平易ナリ又仁義ト云一孟子ニ初テ孔子已前ニハナキ一ノ將軍ノ號モ古ニナキ一ナリ三公ト云一老子見ヘタルトモ古ニハ三事ト云テ三公ト云ス戰國ノ間ニ作レルモノナリト云一長キ論アリ

一君脩云春臺ノ作ラレタル周易反正如何アルヘキヤトカク朱子本義ノサハキ宜シク覺ルナリ又徂来ノ古言ヲ徴トセラル一西漢ヨリ後曾テ弁明ナキ一ノ朱子ノ説ナトハナルホト古書ヲヒキテカハフル一アレ一モ徂来ノ如クニ一ニ古ニヒキ合スルト云一千古獨得ノ

一四月十二日晚君則来テ語鈴木千藏青木文藏ニ一見セリト云リ〇子子新論

語考雍也篇ニテ書寫本青竹樓ニテ見タリトナリ青竹樓ハ前川左兵衛ナリ

一君則云子子迪字佑美惠分ナリ同人ハ徂来ノ弟子ニテ熟ニヨリタ人ニハ徂翁ノ説諸子ノ書寫タリ大寄徴孺ヘハ千ヨトカシタリ後カレタル一殊ノ外悔ラレタルトナリ〇子緯ハ子迪ノ學問春臺流ナリトホメラル也

一文論点ツケタル一大宰翁ノ書点ツケテ刊出シタルハナシト子才云ケレトモ希汲用ヒスシテ希汲点ツケテ出シタルト也点ノ誤ナト君則書出メ改ラレヨコレ太宰翁ヘノ忠告ナリト希汲ニ告ラルトモ希汲シカト用ラレスト君則云リ

一君則云經邦礼典少シナカリモアルヘキヤ聞テミルヘシト云リ

一君則云君脩朱氏文集ニ反覆見テ今ハ朱子語類ヲ讀トテ人見友節ノ方ヘカリニヤラレタリト語レリ

一顏魯公法帖一冊宝曆三年癸酉新刊ス外題ニ顏直公墨妙トアリ唐政通議大夫行薛王友桂國贈秘書少監國子祭酒太子少保顏君廟碑銘ナリ井子叔云此榻本大ニ刻アシク神采ナシト云誠ニ然リシカレバ魯公ノ法ヲミツヘキハ和刻コノ本ナリ

一美曾濃之露成嶋道筑撰ナリ 有徳庵ノ喪ノ中ノイヲ国字ニ書タリ井子叔カシアダヘラレタリ

一觀喜家家ト云小説ニ快子叔カサレタリ

一学山録六冊刊本君則カサレタリ中村深藏ノ作ナリ

一子叔 有徳庵ノ世ノイヲ書カケラレタルヨシ語レリ

一子叔云紫芝園稿寔ニ家ノ言ヲナスト云ヘシ録倉ノ賦ハ古賦ニ云フノキリヤウ全ク文選ノ鮓ナリ岐王岐女佛御前ノ紀事面白ニ至極ナリ一鮓此先生ノ氣槩徂来モ及カタカルヘシ義臣論ナト目ノタル論ナリトナ書メ世上ノ人ニシラセタキヲナルニ知ル人ナキト口ヲシヤナリ赤穂四十六士ノ論モナルホト春秋ノサハキナラハ尤トモ云ヘキナリ世ノ毀譽ヲカヘリミス人ノ耳目ヲ驚ス奇論皆コノ先生ニ屬スヘシト賞嘆大方ナラズ

一吟嚙録寫本君則カシアダヘラレタリ長崎蘆草拙著ストアリ佛經ノイヲ論シ三教一致ニミタル処ニシ佛經ニハヨク通シタル人ト見タリ一醉翁帖墨本一冊醉翁亭ノ記ヲ廣澤ノ書タルモノ也寛延三年己巳ノ板行ナリ見事ナルモノ也

一 高間帖コレモ廣澤韓文公ノ高間上人ヲ送り序ヲ書タルヲ墨本ニシタル也廣澤ノ行書ナリ見事ナルモノナリ

一 子叔云東涯ノ古今学変殊ニ面白シ委細ニ答ヲサハキタル物ナリト賞美ナリ

一 五月十三日君脩ノ書子允ノ計来ル十二日夜中長逝トナリ子允冬少使閉ヲ煩春ニ至テ快復四月末ヨリ食量減面皴手足トモ浮腫有之ヨシ前書告来ル今日使ヲ遣シ少ノ塩梅ヲ贈リタル処計書其人ニ附シ来ル十四日予モ使遣ス

一 子允書寫ノ難波戰記六冊借用ス常通用ノ難波戰記ナリ一紙サケテ子允ノ考ニ元和記ト云モノ書付テアリ其元和記ト云モノ方ノ大坂軍記ノ一ナリ

一 五月十九日芙蓉館ヘ行ク朱注論語ノ講説數章ヲキケリ

一 南郭云守山侯ノ論語徵集覽大カタ出来刊カリテ出来ナリトテ出シテ見セラルニスルト也

一 水滸傳ノ一西游記ヨリモ中華ニテモテハヤシ殊ノ外ニ賞美シカクテ聞スル一ナリト云元ノ時ニ出来タルモノナレトモ明朝ニテトリハヤスナリ兒女ニテ面白カルナリ南郭語タヘリ

一 南郭云子トモヲ教タテ、学問ヲサスルニ素読ナトヲリハニサスルトアシキ一ナリ何ノ益ニモナラテ大ニ倦心ヲ生スルソ訓蒙図彖ナトヲワタシテナクサシモノニサセテ自然ト学ニ覺サスルカヨキト也 有徳庵ノ御物スキニテ字ヲ印ニホリテ今ノ 大綱言公ニヲサセシテ慰ニ御覽ナサルヤウニ成サレタレハ今ノ 大綱言公学問スキニナラセタレヒタルト

ナリ子漢ノ孫ヲ教ヘラルーヲ咄シタレハヨキシカタトテ詔ラレケル

一南郭ノ聯詩有暘日穗黃鳥 心無事時○白雲

一西洋ニテモ天文曆數ナトハ六ニ精微ナリ外國ニハ專門ノ藝ヲ攻ル
ユハナルヘシリメトウ發明者ニテ中國ヘ来リ巧ナル器物ナト ミセテ學問ヲ
モタルニ中國大ニ尊信セリ其中ニ船ヲ乘リマツシ色ニノ所ヲ回リタル
一ヲ云タル、信シカタキ一ナレハ中國人ハ船下子ニ敬慕キタルト覺ユ遵
生ハ賤ニ日本ノ硯箱ノ細ユ一ヲ大ニホメタルナリ日本モ外國ニハカヤ
ウノ細ユナトノ藝ハ中國ヨリモスクレタル一ナリト覺ルナリト南郭諺
タヘリ

一古礼ノ一今トウモ合点ユキ多シタトハ郷大夫士ナトノ家ニテ皆
南ヲ正面ニ向テ作りタルト見ユカヤウノ一罰ヲモリタルヤウニハフリカ

タキ一ナルヘシ今ヨリ見レハ何トモ合点ユカス此類ノ一勝計スヘカハスト
南郭云リ

一中國ノ學者ノ理窟ヲ今日ノ學者ヒキウツメサテミ云凡皆アタラヌ一
今ノ日本ノ大名ノ立ヤウ世界ノ組ヤウ天地閑テヨリコノカタ一色ノシカ
タナリ周公孔子出タフ凡別ニコレヲクミ直スシカタモ有ルハカラスワレヲ
後世ノ郡縣ノ時ノ理窟ニテ評判スルハ聞ヘマ一ナリ又古ノ封建ノ時ノ
一ヲモヒキテモ今ノ大名ノ制度トハ格別タカヘル一アルナリト南郭ノ
タヘリ

一郭象ハ莊子ヲフヘテ清言スルナリ希逸力解ハ字 トリツノテ釈ス
海雲則ナト云ヲ運スルナトスナハナト希逸ハ見タル也則ト云字ナト
莊子ノ用カタハ然ラス海運而ナ云心ナリ然則トモ雖然ト云心ニ用タル

ナリ老莊ナトハ字ノ用ヒヤウ一照ナカヒタリリツハナルハ左傳ノ字法アリ
古書ノ中ニアノ如クリツハナルハナキ也ト南郭語リタヘリ

一南郭云今ノ杜注左傳ハ宋本ヲ注字板ニシタルニ点ツケテホリタルモノ
ユヘ成程ヨキ本ナリト也又史記ノ注ノナキ白文ノ本中国ニアリ戰國策
ナトモアリコレハ明朝ニテ十三家ヲ立テ注ヲ除テ白文ヲ見ルト云一ノ
ハヤリタル時出来タルニヤ又國策ノ注サミヤカニシクアシ注ヲ削去テ
白文同前ニシテ本ヲコレラヘタテ會讀シタレハ存ノ外ソレガヨカリ
キト也史記モ注カ散ミナレハ注ヲ削去タラハヨカルヘシトナ

一南郭云明末ニサミ千鱗ヲ譏ル學者出来タリ袁中郎カ歌行
初唐詩ヲ作レルアリヨク初唐ニ似タリ然レハ中郎モオハアルト唐
詩ノ體ヲモ見事ニ作ル一ナレソレニテハ人ノアトニタツ一ヲキラヒラ一品

カワリタルヘケ 物スキコレテ李王ヲ打破爲ト覺ルトナリ

一俗語ニコクロヲ通スル雪峯ニツキテアリタル僧ニヒタト出合タルナリ唐人ト
咄ヲモヨクシタル人ナレ氏字ハ何ト書ヤラン不知字ヲハ時ニ問尋テシタレ
ナリ然レハ學者ノ方ニテ俗語ヲ書ヲ見ルト通事ロヲ舊古スルトハ格別
ノ一ナリト南郭語タフ先生モ俗語ヨホト覺タマヒテ俗語ニテハナシヲ
コレラヘテ咄シテ見タマフ草紙ノ如クニナリテ咄シニナラズカワリタルモノ
也ト語タヘリ

日本今ノ世界ノアリサミニテ古代ノ一ヲ聞ハケシカラヌ一多シ

小松帝ノ買物ヲ成サレタル古キ書ニアリ今ノ士大夫モカヤウニスル
ナキ一ナハ中国ニ比ヘ視ルニコレヨリ後ニ聖人ト云物カ出来ル一モ知ニス
日本ノ今ハ中国ノ堯舜ヨリ已前ナルカモ知レスト思ハルト南郭

ノタニヘリ

一程子ノ學問ハ埒ノアカスイト思ハルナリ朱子モ實ハ程子ニ學問ヲ見タミタルラント覺テ一多ク伊川ナトノ學問ハ一向ノ一ナリ南郭ノタニヘリ

一南郭云迄頃モ好婿ノ書生護園ト云モノヲ作りテニセ物シテ出スツレユヘ著述目錄ニ改出シタリ南留別志ハ万葉カナトナルヘシ物語ノ一ナリトノタニヘリ

一古キ書ニ松浦サヨ姫玉造小町ナト古樂府ニシタキイト兼ミ思シニ今ハ精カウスナリテ最早スル一モナラスト南郭語リタマフ

一五言古詩漢ノ詩ノ語ヲ夾鳩ノ詩箋ノ如クニシタルハ如何アラント問先生云ク唐ノ近體ノ詩ハ詩家ハ語一種別ノ物ナルユヘ成ホト詩箋ノ如ク

シタルヲ用ノ覺レハ自然ニ詩家ノ語詩家ノ字ヲ覺ルナリ漢五言ノ古詩ノ字ハ文章ノ字トカハリナシ結ト合ワリ合セタル所ニテ詩ニナルユヘキリテ詩ヲ書置タルトテモツレニテハ古詩ノ體ヲ心得ヘキトモ思ハレスト南郭語リタマフ

一儀礼ノ會読ニ注疏ノ字ノアシキヲ朱子ノ經傳通解ニテ直ニタル処多シ朱子ノ學問ハ甚丈夫ナル一ナリアリニ入用ニハアルニシト思ハルニ礼ノ一ニテ朱子ハセンキメミツニセラレタリト南郭語リタマフ

一美叔下獄テ死タリ兄ハ流罪セラル美仲ハ今古講ニテ居ルト南郭語リタマフ

一説郭ニ陶宗儀カトリアツメタルワツカ二十張又少許アルモアリ胡元瑞カ云ニハ前カト見シニ全書アリニ今ノ本ハ少ハカリトリアツメタル

ナリト云へり然レハイカナル ニテカクナリタルヤ皆カ全書ニ非スト南郭語
リタヘリ

一南郭云叶韻ノイ詩經ノ時分ノ韻ハ甚大ニカノイナリ後世ニ孔子ナト
吟味シツメ詩經說約ナトニサテ説ヲ云ヘ心得ラズヤハリ詩經ノ古
韻ハ大ニカナル物ト覺テヨキイナリ

一南郭云楊子雲大玄經ヲカシキ物ナリスムヘキ物トモ思ハレヌセ物
スキニテ清言ヲ論語ニ擬シタリ王莽カ似セ物スキト同シイナリト也

一水戸ノ史局モ学者今ハ寥々タリ名護屋十藏惣裁タリ中々
ヨキ學問ニアラス安詹泊ハ息子サンミノイヲシテ改易セラレ澹泊
隱居シテ物故スツレ故遺文モ散落シタルナラント老師語タヘリ

一琉球ハ中國ノ冊封ヲウケルイヲ薩摩ヘ深ク忌ナリ近頃中山傳信録

ヲ見ルニ中國ヨリノ冊封使モアキナヒ船ニ乘リテ行ク琉球ハ中継ノシテ
薩戸ヘメタニヲウケル也コレハ長崎ノ外ヨリ唐物澤山ニ日本ヘ渡ルハ
皆琉球ヨリ薩戸ヘ取次ヲスル故ト見ルト老師語リタヘリ

一滄溟尺牘ノ汲雪ノ字ハカキアヤメリカ合点ユカスト也南郭云リ又
元美台王カアメリニ澤山ニツクレハ一日ニ一首ツ、書テモ中ニアレヨリハ
少アルヘシ合点ノユカヌイナリ又千鱗モ學問ハセマカルベシ古書ハカリ
ホシリテ後世ノ書ハ見クタシテ博識ナトハ見ヲトシテヨリタルト覺ユ
ト南郭語リタヘリ

一南郭云周礼ハ會業ノ時考工記ヲトクト見タリ己ハ細工ノ人ニ云ツケ
割ヲシテ車ヲ作りタラハサラクトスムヘキト思ハルニ希逸ノ解少
ヨキ説モ見ヘストナリ

一 礼記ハ鄭玄カトリアツメテアノ如ク注ヲシテ置タリヒタトツキ合スレハ古礼ノクヒ違多カルヘシソノクヒ違テ見ヘヌヤウニシタルカ鄭玄ナリ残飯ノ遺文ニテ今ハ如何トモナシカタキナリト南郭語リタヘリ

一 南郭云俗語ハ次第ニウツリ替リユキテ前ノ俗語ハ多クスタルソレ故宋儒ノ注ノ俗語ナトハ又其俗語ヲ注メキコユル也ヨク知レル俗語ナラハ注ハイルニシキ筈ナリト也

一 先生モ鬼谷子ハイニタ見ストナリ

一 南郭云ク人主ノ学問モアヘリヨカラヌナリワルスレハ文華ニ過キ又ハ色ノ物スキ出テ結句文学ナキヨリ悪キモアルトツ語ラレケリ

一 南郭云史記ハ未定ノ書ナリ注サニミ惡シ前後クヒ違ノ処多シト

一 南郭云諷訪侯詩ヲ好タニヒ四部稿ノ七律ノ所ヲ南郭ニエテニタ

ニトアリソレユヘ七才詩ニアル外ヲエラミ出シテ見タルニトカク七才詩ニアルカ宜ク覺タリ四部稿ノ中ヨリエリ出シ処百ノ少上モアルヘキカトナリ宗子相ナト本集ヲエラミ見タルニ七才詩ニ出タルヨリ外ヨキ詩ハナキナリ

一 南郭云賈生鵬鳥賦ノ文選ノ注鵬冠子ヲヒク或説ニ鵬冠子ハ鵬鳥賦ノ語ヲトリ合メ贗ヲ作りタル物ナリト云リ然レハ古書ニハ贗作ノ多キ今ニテハ弁ヘカタキナリト語ラレケル

一 井子叔七才詩解七卷著シタルトテ見セラレケリ

一 説文長箋六書精蘊ハカナルニト老師云レケル

一 子亮来訪義山律師ヲ春臺セリツケラルニ義山其後春臺ノ遺文刊行ノ前ニ穉明ヘコトハリヲ出テ春臺ノ書牘ヲ除テモラヒ度由ナリ

穉明返答ニ先師ノ遺文ヲ刪去ルハ得仕ラシ但シ答書稿成タ
リトナリ然ハ其答書ヲ刊行ニ出サレヨ少モ苦シカラスト返答セラ
レタルトコ

一あまのもくつ三冊一覽ス多クハ書冊ナトノ法式ナリ惠明院僧正
著述ナリ其内定家卿ハスケタル惡筆ト云フアリ又

鳥羽帝ヨリ装束コクナリタル故衣文ヨックル一_一起タリ其前ハナキ
一ナリト見タリ

一子亮云東都湯嶋ノ靈雲寺覺彦ハ名高キ僧ナリ其次某モ名高
キ僧ナリ春臺云ク父ニミサレル子甚少シ唯東涯ト靈雲寺某市川
ニ_ニ藏ト三人ナリ其次ノ義山貨殖ヲ事トセラルユヘ春臺シカリテ
書牘ヲヤラレタルトコ

一芙蓉館ノ庭ニハツタトツハキヲ多ク植ラル松モアリ櫻モアリ箱植ノ松モ
アリ蓮鉢モアリ竹モ植テアリ小キ硯箱ニニキエノアルニ青墨入レテアリ
硯箱ハ黒ヌリナリ何ノモヤウモナシ展風ニ色ノ繪ヲキリマセテハリテ
アリ黄前良ノ_一絵モキリテハリテアリツク六小キツクヘ書院床ノ左右ニ
聯カケテアリ文徵明ノ石刻ノ展風アリ庭ノモヤウ云ニカタナキ風雅
ナリ

一半田三平_{春臺}ハ_{家僕}医者ニナリタリ三平ノ父山林田地黄金モ大分ユツ
リタルヲ上州ニアル三平兄無頼ニテソレヲ皆ツイヤシケルユヘ三平モ母ヲ
養フタメニ生産ノ計外シカタナキ故武田長春院ノ弟子ニナリテ近藤
峰安ト名ヲ改ケル又曲江ハ小普請ヘ入ラレタリ御書院番辞セラレケルト
子亮語リキ

一梅村惣五郎ト云書肆來ル京師ノ本店ニ文選ノ本善注ハカリノ
本アリ四帙ニテ價十金ナリト云リソレトモニ本少シトテ殊ニ貴重スト也
四部稿ヲ携來ル善本ナリ價二十金ナリト云リ

一子叔七才詩ノ注解七冊絶句解ニ倣テ注セリ首ニ明ノ十三省ノ地
図アリ地名詳ニ注セリ大明一統志ヲ此注ヲスル爲ニ購タルト語シ
一笑藻館ノ講堂ハワラフキニテ凡冬ニ數ニテ云ハ四五十疊モシカルヘシ
板敷ニウスヘリヲシキタリ夥數人ノマツメルナリ屋裏ノ方ニアリ
一南郭云二十有餘年已前ニ京師ノ書肆來リテ何ソ書物刊行
シタキト云シ時サシテ思ヨリタルモノモナシ史記ノ点ツキタルカニ通
リアリ其中一通リ点ヲ刪テ白文トシタラハ宜ルヘシト云ルニソレヲ用ス
其後外ノ書肆此咄ヲ聞傳タルカ点ヲ刪去テ史記ヲ出シタルハ

ヨクウレタルト也ソレヨリ後イヨミ無点ノ本出來タルニ世ハヲカシキ物ナリト
語りタヘ

一南郭老師モ近頃二十一史ヲ見タマフト見ヘテトコノ上ニ宋各ノ唐本
アリ句豆ヲシカケテアリ十三經ノ汲古閣ノ本モアリ注ニ句豆ヲシカケ
テアリ

一西游記モ百曲アリト南郭老師咄ケル

一南郭云廣澤已前ハ勝國ヨリ以來楷書モ草書モ書手ナシタマヒ
玄龍ナトアレトモ朝鮮人ノ流義ニテ誠ノカフヤウニアラサルノ廣澤
カラ流ヲ各出セリ

一如辰百川ノ繪ヲ評メ筆意イカニモ中華ニ似タリ唯ウラムラタハ
スフニシタル処カ中華ニ似タルノミヲシリテツヨキヲ似セスソレユヘ

ヨハキ繪ナリト語レリ

一鶴樓遺編三冊卒業白石先生詩ヨリ一段格調下リ中晩ノ體ナリ
室師礼ノ序アリ朝鮮ノ東郭跋アリ南郭先生ノ侍ハミヘス
一金瓶梅上快百回梅村携来ルロニ卷ニ画アリ水滸傳ノ画ノ如シ
春ノ圖アリ康熙年中ノ序アリ鳳洲門人ノ手ニナリタルトモ云又
弇州カ作ナリトモ云ヨシ序ニ見ユ讀法ナトモ有之ナリ
一如辰云補之カ梅ナトハ絶テ見タルナシ王摩詰カ繪モ上手ト云
ハカリニテ今書ツタル山水ナト皆アラスイ量ノナリ宋ノ徽宗ノ繪
モ木下肥後守殿ニアル鳩ノ繪正筆ト見ルナリ
有徳院殿ノ上意ニテ諸侯ノカケ物ノ中ニ上手ノカラ繪アラハ
上覽ニ入ヨトアルニテ御老中ヨリ仰テ傳ヘ狩野榮川ニ如辰ツキ

添テ諸大名中ヲ回レリ久シクカリタル也幾日ト日ヲ定メユキテ殿シク
繪ヲ見タリツレユヘ繪ノ目利ヨホト上リタルトナリ又養辰ニハ十三ヨリ
世四ニテツキソヒテ居リタルト也又養辰ハ養朴ノ房子ナレトモ實養
朴流ニ引カヘテ一流ヲ書出セリツレユヘ養朴流トハ大ニ異ナリト也探幽
肩ツキノ茶入ヲ五十両ニ求テ悦シニ火災ノ時盗ヌミトリタリ具肩ツ
キ京都ニテウリニ出タルヲ京都ノ所司代見タミ是ハ聞トリタル肩
ツキナリトテ探幽ニ知ラセタツ探幽曰ソレハ求ムヘシツレヲセンサクセハ盗
賊アラハルヘシ此器物ニテ死罪ノ人出来ナハ此器不祥ノ器トナルヘシ
センサクハヨシシタヘト云テ則又五十両ヲ出テ求メ下サレ候ト京都ヘ云
遣シ探幽又五十金ヲ出セリヨツテ都カヘリト其茶入ニ名ヲツケ今ニ持
傳ケルトナリ探幽ノ子探信其子探舩其子今ノ探常ニテ持傳ヘ

ケル梁楷ニ来ノ図モ探幽家ニアリ榮川本多伊豫守殿へ御心安シ
ソレユヘ定メテ寫シテ進タルナルヘシ今ハ此画大カタ外へ拂タルカトナリ
又文徵明ノ画ハ能各ナルユヘ画モ重宝スレトモ明画之中ニテ第一トス
ヘキニアラス又云雪村ハ雪舟ノ弟子ニアラス雪村ハ奥州三春ノ人ナリ
ナルホト雪舟ヲ似セタル物ナリ秋月ハナルホト雪舟ノ弟子ナリ非殿
司タクサニニ繪アレトモ正筆ハ絶テスクナシ非殿司ノ弟子ニイッレ勝レ
タル繪ノアツテ殿司ニ似タリ狩野友松ハ一風繪師ナリ又云席繪ト
云フ探幽ヨリ始レリウス墨ノクニテ各キケシテヲキテリマツク書ク
皆探幽カ始メナリ古代ノ法ノ如ク各テ席繪ノ各ルニニアラス又本子
龍眠カ筆一幅秋元但馬守殿ニアリカラ子ノ扇ニテ蝶ヲヨサユル
図ナリ唯ヨキ繪ト云名ハカリニテ彩色モ落色ノ分ルニナシ絹モ大ニ

痛タリケハシキ筆意ナト中ニ見ヘルニ非ス○主馬ハ早世ナリ又今ノ
ソウタツナトハ我僂流ナリ生ウシト云ニテノニテ筆意ノアツキ論ハ
カツテ不知又云浮世亦兵衛ハ古法眼同時代ニテ古法眼同流ノ繪ナリ
墨繪ノ山水ナトイカニモ古法眼ニ似タルモノ也至テ上手ナリ土佐
光超ハ唐人物イカニモ至極見事ナリカノ筆意ノ如クアツク書
ケハ何ニテモ見事ナル筈ナリ又今ノ世ニカク竹ハ全クタシ芝瑞ニアラス
別ノ物ナリ如川ハ我ニ流ニカキツシテ大ニ埒モナキニナリ繪ノ目
利ノハ口傳モ用ニタス筆意ヲ知ラ子ハナラス筆意ヲ知ル
極メテ難キナリ又人物ノ寸法ナト面ノカ子アヒニモイロニ法アリ
セイノ高サ首ノ六ツ半ト云フナレトモ中華ノ官女ノセイハ少シ高キ
ヤウニ唇テアルナリコレヲ必法ニカ、ワラスト見ヘタリ法ニカ、ハル時ハ又々。

アシクナル也遠樹無枝ト云凡モヨウニヨリ遠樹ニ枝ヲカクイモアルニ
法ハ至極ニ大切ニスレトモ法ヲモ又融化シテ各クアルニテ又大事
ナリ人物ナトヲ書セ法ヲ習スルニヒトツ人物ヲ其法ノ合点ノユク場ニ
テ二十日モ二十日モヒトツケテ直シ直シ各セソレヲ倦ム心ナクカキツケテ
吾物ニナレハ其外ノ人物モ準テ各ルニヤウニナルナリ大カタハヒトツ
人物ヲ日數カリテ同シテ各ク故大ニタイクツシテ半分ホトニテ
止ルニ吾物ニナラスソレニ上手ニ出来ヌナリ絵ノ目利ノ近頃モ養朴
如川隨川三人シテ書ケル松竹梅ノ卷物ヲ何トモヨク出来タリト
極メリ如辰云似セモノ也人々其故ヲ問ニヨリ一ニ其似セナク云似セ
ノ證據ト云ハ至極ニ上手ニ似セタル物ナレトモ筆意タカヘリ何ホトモ
養朴ニハカヤウノ筆意ナシアヘリニ能似セタルト見レバタモ過タル筆意

アリ養朴ニハタヘテナシト云其外數十条云テ養朴イクラノ繪ヲ出メ
クラヘ見ヨカル筆意ハナシト云テ勝タリトノ咄ナリ手クセハ上手ニモ
アリ其手クセヲ能シル一肝要ノ一ナリト云凡画二十年モ専門ニ
カヘリテヲ子ハ少ノ合点モユカスト語ケル

一南郭云読唇ニ和音ノ声ノ違タルアリタトハイツタル彼晨風ハ在鬱北林
ナト云詩ノ句風ノ字ヲ叶音ニヒント今人ニヨテスル以ノ外アシキ也
ソレハ中華ノ読法 聲ナラハ格別ノ一ナリ日本ノヨミテ風ト云
字ヲヒント覺ヘテ外ノ所ニテモヒントヨミスアルニテ如何ナリ叶音ハ
日本ニテハ本音ノ通りヲヨシテ置ヌルカヨキ也

一武ノ川越ニ林祭酒ノ門人アリ算用ノ上手ナリ度考ヲ見テトカク
云ヘキヤウナシ量考ニハ誤アリトテ駁シクル各ヲ著タリト也

一 君則云紫芝園国字書ニ出サス書ハ南郭ト間答ノ昏曉アリト也
春臺ノ封書ハ焚ヌルト穉明云ヘリト然トモ實ニ焼タルニハ非スト
ナリ

一 徂来病中ニ南郭見廻論語ノ彼哉彼哉ト云フ佩觿集ノ説見出シタルト
咄シアリケルハ面白シ定説ニスヘシトテ即徴ニカキ入サセラレタルト
南郭語ラレシト君脩云ヘリ

一 鈐録ハ徂来一年風タナテ書物悉土藏ヘ入置レタル冬ノ一ナルニ軍書
少ハカリ出シテ見ラレタル時ニ出来タナタルト也

一 春臺ノ鬼門ノ辨ナトハ徂来ニ相見ナキ内ニ出来タルヨシ子元語ラレ
シト君脩ノ話ナリ

一 陳仁錫校閲ノ史記ノ本注ヲ削去テ字モアサヤカナルヲ援卿持レ

タル 君脩ノハナシ也君脩ニ史記ヲ白文ニシテ文理ノ貫キタル処ヲ見タキ
ト云ヘリ

一 大学解ノ只一段ハ徂来水野明卿ノ方ヘ行レシ時明卿大学ノリヲ
問レシニナルホト此間吟味シ考存寄モ出来タリトテ金華ニ云テ筆ヲ
金華ニトラセテ一晚ニ出来タリトナリ

朱子大学ノ序朱子一生得意ノ文ナリト春臺モ称セラレ来翁モ称美
ナリ君脩ツラミ按スルニ漢ヨリ已後韓カ原道柳カ封建論朱子大学
ノ序コレ等理論ノ至極ノ名文ナルヘシト思ハル也又中庸ノ序ニ次クト
春臺モ云レタルトナリ又君脩云仁齋ノ大学ノ論邪説暴行ノ對策
ト無理ハ至極ノ無理ナレトモ文ハ生テハタラクヤウニ寛ルトナリ

一 君脩云徂来ハ漢魏叢書ナトハ大カタ見ラレヌヤウニ思ハル也来

翁ハ後世ノ書ハ殊ノ外ニ博ナラストナリ

一子允ノ作文集十卷アリ詩六卷アリ最要抄ト云モノ子ヲ教ル書
国字ナリ觀瀾紀事一卷国初ヨリノ咄シ漢文ナリ正言二卷モ
出表タリ乾坤小説ナト云易ノ説アリコレハ思ヒストナリ五論ト云モノ
アリ得意ノ文ノ由治國論ナトコレアリ窓ノスサミ三卷同拾遺
一卷アリ

一 大疑錄ハ春臺ノ方ニ少ハカリ抄書シタルカアルト也君脩云春臺ハ
孟子朱子子鱗三人カキラヒナルトナリ

一 叙事ノ文春臺南郭二人ノ外日本ニハアルヘカラス春臺并理論
ニテモナキ叙事ニテモナキ送序ナトハ一圓面白カラスト君脩云ハ
一 墨子ハ徂来ノ校正セラレタル本アリト君脩云ヘリ

一 春臺ハ元来性ノ急ナル人ナレトモ學問ニテ子リツメテ從容トシテアル
ヲ習テ久シキニタユルヲ得モノナリツレユエ會業ナトノ日外ヨリ来ル狀
ナトヲ書テ隨分ユルく書レタリスヘテソノ如クニテ一生ノ間ウロタヘタル
一ツ見スルヲナシト元麟ナト語レリ

一 徂来ハ芝ニ台耕シテ居ラレタル時至極貧ニテ豆腐屋ニカリ宅シ
テヲラレタルユエ豆腐ノカスハカリクハレタルト也大ニ豆腐屋ノ主人世話
ヤキタルユエ徂来祿エラレタル後二人扶持ヤラレタルトナリ

一 君脩云徂来ノ墓誌ヲ春臺ノ書レタル今少アルヘキナリ韓文公ノ
碑ヲ東坡ノ書タルヤウナル文ノ論アルヘキナリ周南徂来ヲ評シテ
洙泗已来ノ一人ナリト徂来モ又 神武来ヨリ一人ナリト自分モヒソ
カニ云レタルトナリ

一 山城天皇ト春臺ノ書レタル如何アルヘキ春臺ハ天朝ヲハトカク
勝國ノアシラヒニセラレタリ南郭トハ大ニ異ナリ元禎云徂来ノ日本
國夷人物茂卿ト孔子ノ贊ニ書レタルキコエヌナリト云君脩モ此論
尤ナリ徂来モ少日本ヲオトス心ナリ南郭トハ大ニ異ナリ

一 徂来ノ説ニスヘテ仁ハ愛民ナリ修身ハ下ニノツムニヨリテアルナリ
ト云意心得カク然ハ下ニノツム民ヲ治ル人ニナケレハ修身ハイラヌ物ノ
如ク聞ユサハ顔子ノ曰勿ナト俄ニ民ヲ治ル為ニ孔子ノ教タマヘルニ書經ニ

見エタル所脩身慎徳類隨分詳ニ見エテアリ然ラハ脩身ハ下ヲ信スル
為ニスルト云一ハ聞エ又説ナリト君脩ノ説ナリ

一南郭云微宗ノ鷹ト云モノ世上ニ大分アリ皆物ナリ見ニタラス真
ナル物ハ決テナシト覺ルト也又云微宗ノ繪ニ蔡カ賛多クアルモノ
也

一君脩云繪ノ賛ニ中華人ハ多ク自分ニ作りタルヲ書キ古詩ヲ書タ
ルハ絶テスクナシト也

一君脩云徂来ノ理論ハ天道福善禍淫論五行論鬼神討策ナト
ナリ学則次之サテ不巧タルハ徂来南郭仁存春臺ナルヘク春臺ノ
詩文ナトハ学問アノ通ニ丈夫ニナクハ人トリ上テ見モセシ近體ト平
淡ナルハカリニテ面白クナシ然ルニ歌行ナトニトウモ外ノ人ノ得作ラ

ス一ノヨク作りタリ又叙事至テ上手ナリモチ合テ一家ノ文ヲナセリ
南郭ナトモ題跋ナトノ類ハサラニ面白カラスサレトモ大文ニナリテスク
レタリ是モモチ合テ一家ヲナスヘシ此諸君子ノ外東野周南金華次之ヘ
シト云リ

一君脩云トカク詩文ハ面白クス^レ聖人ノ定タニヒタル一ニ非ス人倫ノ教
教礼樂治術ホ聖人ノ定メタニヒタル一ハ少モツレニタカヒテハナラス詩文
聖人ノ定メタニヒタル一ニ非ストカク面白シテ後世ニ傳ヘシシカルヲ李于
麟ヲ春臺ノシカラルハ甚聞ヘヌ一ナリテ麟ヲコス上手ハアルヘカ
ラス盛唐ノ詩及スト云ハ氣運ニテ自然ノ一ナリソレヲ盛唐ト同シヤウニ
ナキユヘアシキト云ハル一心得カタシ人^ニ經学ハトカク聖人ノ定メタニフ
アレヲサヘフマハツレニテ事足ルヘシ詩文ハ人ノアトニ立ヘカラスレト家

ヲナスヘシ韓柳歐蘇ヲ始メ皆一家ヲナシテ人ノアトニタハヌ料簡ナリ
又于鱗カ叙事ハ外ノ文章ハヲトレリ五中丞傳ノ叙事モ元美カ行
狀ヲ中ヲカキ拔ニシタルヲテノヤウニ見ユル也

一經学ノ一テ後世發明スルト云ハ大カタハ古人ノ云サルヲ云タキト云
心ヨリ程朱ナトノ説起レルナルヘシ聞ヘタト也トカク聖人定メタル
チカハヌヤウニ考ヘキナリト君脩ノ論ナリ

一野中傳左門土佐侯ノ礼法ヲ定メタル君脩語レリ今ニ土佐侯ノ
制度ハ此人ノ教ナリ舜水文集ニ傳右門三年ノ喪ヲ行フト云
一見ヘタリ

一子允儒学傳ヲ著ス冊アリイニタ草稿ナラスト君脩語レリ

一池田ノ御家ニアル唐画子昭ノ仙人 有徳院殿ノ御覽ニモ入

御賞美ノ由芝瑞ノ竹少キ御掛物アリ今時世上ニ各々竹トハ大ニ異ナル
モノ也ト如辰云ヘリ

一樂ノ一日本古ハ淫声ナカリシユヘ雅樂海内へ行ハテアリシナルヘシ
今淫声ノコリタル後ハ此淫声ノ禁制ストモ又替リタル淫声ヲユリテ雅
樂行ヒカタカルヘシヤト君脩ノ論ナリ

一今東都ノ官名ヲ華文ニカタニ新ニコシラヘスハナリカタカルヘシト君脩ノ
説ナリ列国ノ一ハ左傳ノ官名ニ本ツクヘシト禎カ論ナリ

君脩云魯ノ三卿ニハ官ノ名ミヘス孔子ハ大司寇ニナリタニヒタルハ今
世ノ仕置家老ニ似タリ三卿ノ官ノ名ナキハ今ノ諸侯ノ国ノ家老ノ
役義ナクテ唯家老ト云テ職掌ノナキト同シナナルヘキヤト君脩ノ
説ナリ

一卿大臣ニ政ヲサスルト卿ヲ多ク立テ周ノ如ク六卿アルハ權ヲ獨ニトラ
セヌ為カ後世ハ執政ノ人一人アリテ何モカモ一人ニテキリモリスルユヘ任
賢時ハ甚ヨケレ氏李林南秦檜ナト云人一人ニ政ヲサスル時ニ天下滅セス
ヘシ

神祖ハ乱ヲ禦ノ謀ニ長シタマフ故カ御老中ヲ多ク立テ月番キリ啓サセ
タマフ故一人不肖者アリテモ國ヲクツカヘスニ至ラス然トモ弇州カ論ノ
通り疎於求治者也トカク乱ヲ防クニヨキト見ヘタリ徂來モ春臺モ月
番切ノ一ヲ甚シカリソシラレタル此一ハ如何アルヘキヤト君脩論ナリ
又春秋列國ノ寸家老一人ニテ為政アリコレハ周公ノ時如此ナル
ニヤ又春秋衰乱ノ世ニナリテ如此ナルヤマノ一考カタキナリ
一松平紀伊守殿 後御老中ヲ勤
世ニ名高キ人 京都所司代ノ寸東都ヘ下リテ元祿ノ

末ナリ殊ノ外ニ東都奢侈ニナリアル一ヲ嘆セラレタルト云元祿年中ニテハ中ニ
質樸ナル一ナリシトナリ此紀伊守殿ハ先ノ紀伊守殿ノ末子ニテ幼時病
身ニテ中ニ生成シタマフヘキニ非ス其上ニケカシテセムシニナリタマイタ
ルヲ君脩ノ大父モリニナリテ世話ヤキ殊ノ外骨折テ成長シ兄ノ跡ヲ
繼テ紀伊守ニナリタマフト云君脩ノ大父ハ俸米ニテ召出サレタル人カ
段ニトリタテラレタルト云君脩ノ父子三歳ノ時宮參セラレタニ薩
摩ノ士二人撫之テサテモ美シキ兒哉何ソ進セシト云ハ何モナシトテ
キンチヤクヨリ錢ヲ出シテ子允ニアタエ子允イタキテ散錢ヒツニナケ
入レケレハ彼士驚テサテモニ士哉幼少ヨリスラレタルモノニ我等耻辱
ヲウケタリト云テホメタルトナリ又子允白山御殿ノ下ニ居ラレタル時火災
ニカヘリテ上屋敷ヘ引取其又翌日ヨリ不相登會読セラタルト云ソレヲ

見廻ニ撫謙先生人ヲヨコレテ聞テ大ニホメ状ヲヲコサレタルヲ子允感狀ノ如クニ持テ愛セラレケルトリ

一 君脩云朱子文集ヲミレハ朱子ノ人柄知ルナリ今云朱子ノキウダツナルヤウナル人トハ見ヘス今ハ學問スル人ノ朱子流ノ人柄ノ偏クツナルハ大カタ山崎闇有ヨリ始レルナルヘシ山崎ハ氣違ノヤウナル人ナリト云傳ヘタリ 三宅丹治尚齋ト云人コレハ人物ヨカリキトニ

一 君脩云常ノ人ハタトヘハ各物十冊アルモノヲ九冊ミレハ残り一冊早ク見テシヒタキニ春臺ハ決テ左ヤウニナカリシト語シ

一 君則云春臺ハ輟耕錄ニテ白スミノ塗株シテアリ所藏ノ本ハ悉皆然リ門人云先生モカヤウニシタフハ患ナルニ近キ一アリトヒツカニ云フヘリトナリスヘテヒヤウシヲツケ替ヘ點ヲ直シ字ヲ改嚴密精正及

ヘキヤウナシトナリ

一 嚴有院殿已前ハ國初又

徳川家ノ一ヲ各タルヲ板行ニシテモ少モカミヒナシ

常憲院殿ノ世ヨリ

徳川家ノ一ヲ各テ板行スルヲ殊ノ外忌

キラヒタミ絶板ナト

仰附ラレタリ

一 朱子祝融峯ノ詩

詩文 集五アリ

我来萬里駕長風絶壑層雲許

盪胸濁酒三杯豪氣發明吟飛下祝融峯此詩宋入ニアラス朱子ノ

傑作ト春臺モ云レタルトナリ

一 君脩云魏吳蜀三國正統ノ論トウモ未決ノ一ナルヘシ朱子ナトハ劉氏ヲ

クウル心ハ天子ノ

惡トセラル勿論其道理ナレトモワレヲツヨク云ハワレハ湯

武ヲ薄スル論モ起ルナリ朱子ハモトヨリ下心湯武ヲ貶スルト見ヘタルユヘ

天子劉ヲ奪タル曹操ナレハ正統トナシカタキト云フヤルヘシ

一白石先生本朝通鑑ヲ見テ是ハ史ノ體ニアラス日本世説ナト云ヘキ
物ナリト云レタル由子叔語シ

一子允ハ伯夷叩馬諫ハナキ筈ノ一ナリト云明人ノ説ニ從テ春臺ニ答
ラレタル昏ニモツノ一ヲ論セラレタルト君脩ノ話ナリ

一陽明全集ハ太函集ホトアリト子允ノ陽明学ヲセラレタル寸借り見
ラレタルト

一淳和法帖至極ノ本ナリ但首卷ニアルハ如此アルヘキト子叔ノ詳ナリ

一朱子又ハ陽明ナトノ文ノ多キハ大カタ昏牘ニテ門人ノ問ニ答ヘタルニサテ
出疑書 下出モナクサツミト昏テ思ヨリニテ其ワケヲ立テ昏ヲ下忍脱ク字
ヲ下忍脱ク字
ヲ下忍脱ク字

ソレユヘ文受シ又昏簡ノ留モナキト見ヘテ朱子ノ門人ニ答ラレタル昏ノ

前ノ昏論ノカキトメナキユヘ覺ヘスト云フ見ヘタリ又門人モ師ニ問疑シキ
一ヲハ昏簡ニテ問タルユヘシカト埒カアキタルト覺ユ是中華人ノ學問
ニテ日本人ノ學問ノシカタト異ナルナリト君脩ノ説ナリ

一君脩云中華人ノ詩ハ人ノ目ヲ驚ス作肺腑ノ中ヨリ流レ出スル如ク
後世ノ人ノ及カタク真似モナラサルアリソレユヘ數百首ノ中ヨリユラミ
出セハ二首カ三首カ絶唱ノ得意ノ詩アリ日本ノ歌人モ古ハ歌人ハ
一世ノ内ニ得意ノ和歌千載ニ傳ルアリ中華後世ノ詩人日本今ノ詩
人歌人ナトハ左ナシ南郭ホト詩ノ上手ハナケレ夜下墨水作ハ成ホ
ト中華人ノ得意ノ詩ナリ其外ハナシ明人ノ詩ハ學問セメシタルニ
ソレヒタルト覺ユトナリ

己下九月十八日君脩來話テ夜四頃ニテ談ス

一南郭高雄山ノ移文バ名文ト春臺ノ評ナリ

一徂来ノ方ニ會ノアリシ時諸子疑ヲ質スル時ソレハ如何トアリテ未決
ノイナトアルニ南郭ノ料簡ヲツケラルイワモ諸子ヨリハ勝タリトナリ
又南郭ハ即席ノ詩殊ノ外案シテツクラレタルニアマリヨカラス大カタハアト
ヨリ直シ又ハ作りカヘラレタリト也

一春秋ノイ易ト二經トテモ中ニスムマシキイナリ

一徂来文集ノ序散ニアシキト予カ評判又大東世語序散ニアシキ
ト予評判君脩モ尤ナリト也

一徂来ノ政談ハ御小性衆ノモトニアリシヲ赤星子蘭ナヨト見タリト
ナリ徂来ノ手ヨリ直ニサシ上ラレタルトナリ夫ユヘ草稿モナキカトナリ

一朱子語類百四十卷大ヤウ文集ト同シホトアリ其内曾子一貫章
ナト一卷アリ

一雨伯陽ノ橘窓茶話ト云モノ 公方ノイヲ帝室ノアシラヒニスルイ
散ミシカリテアリ問中江惟命曰賢人也問仁齋曰君子也曰闇
齋云ニ豪傑也曰荻茂卿曰學術文章天下無双憾大木
不立トナリト也

一春臺抄各ノ目錄ハ類分ケニシテ書出メアリソノ未ニ奇字疑
事ト云ニ條アリヨメヌ字ヲハ奇字ニ各出シ疑シクスニヌイハ
疑事ヘ各出メ是非トモスニス料簡ナリト也

一徂来春臺トモ和ヲ倭ニ云ルイ甚不尤ナル説ナリ

一東涯ノ文トカクハキトシタル文ナシ經史博論モヒトツモ面白キイナリ
云リ

一護園隨筆ノ可議字ナシト宇子新云ヘリ字名并道ニハ大ニ

ラタヤカナラヌ又ウアリト云ヘリ

一 于鱗モ文ハヤウクニ出来タリ覺ユ蘇東坡白樂天王元美ハ輩ニ
マカセテ作り出シタルト覺ユトナリ

一 學問ハ六朝ヨリ大ニクツタルト覺ユ孔子ノ時ノ學問詩書二經ニテテ
樂ハ人ミノ器用不器用モアルヘシ其外師トナリ弟子トナリ學フ所
礼ハカリニテ一ノハサ一ノ言句モ大切ニナラヒウケテ守ル所ハ礼ナリ三
代ノ學問ハ專礼ノ一事ト覺ユナリ孔門ノ諸弟子ヨリ集リテ
武道軍旅ノセンキヲスルヤウナル一ナルヘシ西漢東漢ノ人物モ學
問ノ内ヨリ出タル人才多シ三國ノ乱ヲ經テ晋朝至リ大ニ學問變シ
清談ヲ事トスル人出テ虚理ヲ云読各スル人ハアテリ多カラス政事ニ
アツカル人ハ門地ヲ尊テ謝ナト國家ノ一ニカミリ學問ノ内ヨリ出タル

人オノ用ニタズコレユヘ古代ノ學問トハ大ニカワリ唐ニテヲシ返シタルト
モ元ヘモトラス宋ニテ朱氏出タルトモ元ヘモトラス種ミノ學問出来テ古ノ
代ノ學問ノ姿ハアトカタナク消ウセタリ

一 今ノ學問復古ノ學ヲセンハ詩書三礼ヲ埒アケハ事足ルヘシ博ニ過ヘ
カラス論語ナトノ解ハヤスキ処ヲウチカヘシヨク読ヲ古各ニ引合見レ
ハツレニテスムヘキ一ナリ

一 春秋ノ時君臣ノ義ト云モノハ別ニ論ス東西漢ノ頃ニハ仕官シテ奉公ニ
出ルモノ云タキ一ヲ云テ用ラレスミタキ一ノナラヌ時ニハ其ミ引込テモト
ノ古卿ヘ帰田スルナリ六朝ハ門地家節ヲ尚フユヘ代々其家筋ノ人
用ラレテ政事ニアツカル唐宋ハ仕官ノ奉公スル人志遷セテレ或ハ
臣ヲヲトサルニ耻トモセス朱子ナトノ如キ儀義ヲコトハリ云フニ

元ノ在所ヘモ得引込スル閑官ニ居ラルカ如キ其時代ハ官へ出ル
ト在所ノ田地モナクナルユヘナルヘシ明ハ然ラス漢ノ時ノ如ク少諫ヲ甲
父心ニナカヘハ其終致仕メ引込ナリ在所ニ田地アル故ト見ヘタリル
マノ処ヲヨク論メ其後君臣ノ大義時宜ニヨルヲ察スヘシ

一文運治體トモ日本ノ後世ニ

徳川家ヲ称スヘシ但シ日本ノ古ハ文物 朝廷ニ盛ナレハ文在上也今
ノ世ハ文章上ニハナクテ下ニサミノ学者出来タハ文ハ下ニアリト云ヘキ
ナリ

一文ノ事唐ノ始メテハ上ニ用ル文章即天下ニ通用ス韓退之出テ古文
ヲ称シタトモ墨閣ノ文トハ云レス宋ノ時モ上ニ用ル文章即天下ニ
通用ス歐蘇盛ニ行レテ上ノ墨閣ニ其體ヲ用ルニナリタルト覺ユ

明ノ世ハ墨閣ノ文ト地下ノ文トニハナニナリテ李王ナトカ文ハ上ニ行
レス一種下ニ行ル文出来タリト覺ルト也又科擧ノ文見タキナリ
ト也

一野子賤見致命論ヲ作りテ易ノ致命遂志ト云ヲヒキテ辞命トニ
ハアラサル由ヲ論セリト也

一聖人ノ教ト云モノ名目ヲ立テ弟子トモ固ク守リテ大切ニスル処大カク
只今ノ子トモニ礼ヲ教ルコトク飯ハクヒコホサヌ物ワト云ニ同シカルヘシ道
理ノ精微ナルトハ曾テ覺ヘヌトナリ

一子允王陽明学ヲ講セラレタルカシニテヨク知リタルヨシ陽明モカッテ外
学問ハナキ人ナリ只科擧ノ熟ノ学問ニテ珍ラシキヲ云出シテ
良知ヲ云ハリタルナリ

一護園隨筆ニ載セラル

孟子不誠大丈夫哉ト云一ツリ徂来忘ラレタルカト春臺ニ評判ナリ
トコ

一昔ミハ種トカク人ノ心服スル人アリ漢ノ孔明ナトナリ日本ノ熊澤大
ナトモコレニ似タリ朱子語類ノ中ニ明道ハトカク人ノ心服スル人ナリ
伊川ハサニ議論ナトアリ陸子靜ハ何トモナリ人ノヨリ服スル人
ナリト朱子ノ云レシ一アリトナリ

一書肆嵩山房ノ云ケル徂来先生ノコトキ學問ヨクアリツラメ氏武士ニハ
朱子學カ宜シカルヘシト口クセニ云タルトナリ是ハ朱子流ハフミツメノル
事ヲ第一ニスルユヘノ評判ナリ商家ノ云フナレ氏一理窟アリタルナリ
ト也

一三代聖人ノ道ニ今日日本ノ横目ヲ附ルト云ヤウノシカタナシトカク乱ヲ
フセク道聖人ニハナシ乱ヲ恐レヌキカタナリ乱タラハ其時治ムヘシト見ユ
ルナリ人ヲ用ルニモ敷納以言明試以切シテ少モ仕損スルカト云遣氣ナシ
ニハ一ヲサセテミルト見ヘタリ

一南郭初稿ノ頃ノ文ハ車文選ニヨラレタルト云文選ヲハ能クヨミテ李子善
注ニモ昏込レタル由ナリ

一禎云于鱗文ハ贈序至極面白シ今文ナトニ哀情ハナクテ大ニ面白
カラス君脩モ尤ナリト云ヘリ

一唐ノ人ハ大カタ故卿ヘ得歸葬セズ京兆ニ葬ルト云一韓文ノ墓石ニ
夢ク見ヘタリ

一雨伯陽ノ説ニ村場斎藤井懶斎人品ヨロシキト大ニホメテ

書テアリ

一日本人ハ好齋、整好簡潔、中

鮮有盛大從容トシ、氣象ト徂來ノ論ヲラレタル一、至極ノ確論ナリ

ヘミ

一南郭ハ水斯立大ニ氣入ラストナリ、管麟興ハ病身ニテ用ニ立ス終ラレタルトナリ、雷ニヲソレタル咄モアリ

一加藤大貳ト云人、庄内ノ理学ヲ首唱、田矢柄水野勘解由皆此人ニ學ヒテ、其後徂來ニ從テ學問セラレタルトシ、加藤大貳已前ハ至テ文盲ナルトナリシトナリ、今以テ庄内ハ風俗ノアツキトナリトカク賢者ニハ尊信スルコトナシ、ナラス今以テ加賀山某如キ君脩ノ所ニ來テ、各物ノ一ヲ問テモ、其マ、カキ付テ歸ルホトニセラルトナリ

一仁齋ハ深ク朱氏家ノ旨ヲ反覆見テ悟ヲヒラキタルモノト覺ユ、徂來ハ不然、四唇朱注ナトニテ一通リノ朱學ヲセラレテサテ古書ヲモヒロク見テ文章ヲ自由ニ唇ト學問丈夫ニナリテ、後六經ヲヨミテ一時クハテリト埒明タルト見ユルニソレユヘ、朱氏家ノ旨ヲ深ク味レタルニハアラサルト覺ユルトモアリ、又一時ニヒラケタル見議ユヘ、未タ未定論モ多キ中ニ長逝シタヘルユヘ残りタルトモ覺カルヘシ、春臺モ古訓外傳外ニキクト經學ノ書著サヌハ少、謙遜ノ氣味アヒアリテノ事カトナリ

一明道ノ定性、各經學一生ヲ發明ナルヘシ、佛說ナルヘシ、然トモ其人ハ至リテ賢人ニテタシクモ服スル人ナリ、今ノ朱學ハ程伊川ノ序ロナリ、ナヲウケツイタルナルヘシ

一韓退之ナトノ言ハシテモトリタカリタルハナシテ人ノ上ニ見タルニキイニ

范忠宣ノ流サレテ船ノ歸リタル時云レタル言世説ノ補アリイカニモ
見事ナリ宋ハ大カタキニ遷セラレテモ左ノミ見クルニキイキカタ
ナキハミツメタル所ツカニヘ物ニナリタル字問フタル故ナルヘシ

一南郭述秀緯序ニ失一左手ト昏レタルヲ希汲ノ訛判ニ左手ト
云一ニ左手アルヤウニトアリ又或人ノ評ニ南郭結髪爲男兒ト云
句心得ラレス結髪シタリトモ男兒トハ云レシ男兒ハモトヨリ定リタ
ル一也男トナルト云和語ヲウケテ作ラレタルユヘ此アヤニアルカトナリ
スヘテ日本人ニハサハカリノ作者ナリトモカヤウノアヤニナハアルヘキナリ
一水斯立弱冠後隋ノ王通ニ擬ノ太平ノ十二策ヲ各タリトナリ此後
族ノ臣秋子羽ノ方ニアリトシ

一高君カ苛刻ナル法ハ論スルニ不及然トモ自分ノ國ヲ固ク守リテ強富ノ

道ヲ施シ十分ニ手前ヲヨクスル道ヲ行ヘル故六國ヲ合セタリト見ユ日本
ノ弓箭トハ大ニ異ナリ戰國ノ時トカク有無コクニ敵地ヘハタヲタヲ勇
將トシ鄰敵モ畏服ス不戦メヲレハヒトリテニヒシゲテ今川氏ノトタ
ナルコレ異國ト告日本ト弓矢カタキノ異同ナルヘシ

一古ノ學問大テイワレナシ行フト云ホトノトワモリテタシカニ心アテ、ヲル一ト
見ヘタリ諸子ノ言志孔門ハ諸賢シルヘキ孔子モ期月己而可ト仰ラ
レタルモタシカニ御ツモリ有タルナラメト思ハル

一古學行狀東涯ノ作ニテキハメテヨク出来タリ

一九月廿三日如辰來訪シ云探幽生馬永真兄弟三人同シク高
云人ノ門人ニテ繪ヲ各タリ探幽一番ニ團ヲスケテ上手ニナリ主馬ノ風
ヲ立テ雪舟ヲリテヘテ一流ヲカキ出シタリ永真ハ末ノ弟子ナルユヘソレ

ホトヨシテ何トノ早クテ流ヲ立タリ俄ニ自ラ園ヲヌケントシタル故タトヘハ
宮女ノ面ノサイニキ生エシニナレタツルハ面白カラストテワウトノクニテシタ
テタル故カハリタル繪ニナリテ後ハ見ラレヌヤウナリタルト也ソレユヘ牧心齋
各々中ノ繪ハ一流ヲ立ヌ時ユヘ繪カ法ヲタツサヌナリ近頃周信カカキ
クツシテ埒モナキ繪ニナリタルハ寂早ワレヲ押ス繪ハナキト云ホタル心ヨリ
大事ノ戒ヲ忘レテ散ミノ一ニナリタルトナリ又土佐家ノ繪ノ具ノコシラハ
第一ニウルシヲコス如クニカワニテアハセタルヲ絹ニテコシテ絹ノ目ヨリ出ル
ニテサイシキタル物ナリコレ至極ヨキ法ナリ

一 君脩云縣官ヲ公上ト申然ルヘシト服先生云レタル由コレハ楊惲侍ニ
出テ實ニ天子ノ一ナカラ只上ト云ヨリカロカルヘキヤ日本テ云公方
ノ公ノ字トウヘサメト云上ノ字ヲトリアハセタル心ナルヘシ十月十日サ

藻館ニ至ル終日談ス已下老師ノ説ナリ

一 送井子叔序ヲ携フテ見テモライ木竹ヲツキタルヤウナラト云服夫子
云シカラス文ハナルホトカヤウニ各ツケテツイニ家ヲナスヘシ中ニ面白
ナリイカニモ宜ク見ルナリトカク許可スルト自足ル心ニナリテ一寸モ進ス
ソレユヘタヤスク許可セヌ也隨分歩ヲ進ムル心得ニテ是非一家ヲナス
ヘシ成ホト一家ナシヲセラルヘキナリト次ニ云許可スルト大カハ孺人
ノ子ヲ賊フト云ニナル肥後ノ水足平之丞ヲ来公翁甚賞美セラレタル
ユハ目足心出来テソレナリステ其内ニ凶変ニアヒタルト聞リ徠翁没後
服子答簡ヲコシテ返事モセラレトナリ其後又答簡ヲコシテ聞
東ヲハ足下引請^テ海西ヲハ^レ引請ント云ヨコシタリ詩徠来^ニ本子白ヲ
以テ許可レタルハミヤミレニテヨキナト云文ナリ海西ト云モ廣キナリ

サリアリ長門ノ諸君子ノ詩大分アリ何トカ返事ヲセルトタメロウ
内ニ水足物故ヤリツレユヘ返事ヲモセスメ事スミタリ足等自許ノヤシ
セスミスナリタルト也又返スミ今時ノ學問輕浮ニナリテ精密ナル
ナシツレユヘヒタト社中ヘモ其噂スルトナリ昔春齋ナト説鄒ヲ二遍見
タル三遍ミタルト云一イカナル一ヤラン合点ユカス一遍ニテモハヤバカナル
一又ハ無用ノ物ト云一合点ユクヘキ筈ナルニ何トヤラン見ラレタルヤヲ
カシキ一ナリ唯東涯ノ學問ハ説鄒ナトヲモ能ク見ラレタルト覺ユト也
一文通ト云昏明未ニ出来テ陳騷文則ヨリハ文ノ沙汰ヨホト詳ナリ
サミツ一見ヘタリ文人ノ心得ニモナルヘキ一アルユヘ刊行サセタキ心ニテ
其後各物屋ニ云付レトモ本少キカ寫本ノ誤字タラケナルヲ見セタ
ル故刊行モ得サセスト也

一徂来ノ見識ニ孔子ノ古語ヲヒキテ仰ラレタルト云一宋ノ人ノ説ニモアリ小
説ニテ見タルトナリ

一品字幾ハアミリ宜キ字各ニテモナシ後世ノ字ノ字各ニ注ナキ一少シハ
出テアル故人ニ皆珍ラシカリテ云タテホムル也日本ノ猿樂ノ能ト云一
アノ方ニテモ能ト云一品字幾ノ中ニアルカト覺ユ又正字通ニハ引各
ソミツ也ツレユヘ康熙字典ニハ引書ヲ正シク引ケリイツレヲヨキトモキツ
ト云カタシ博雅廣雅モ一物ナルヲ二種ノ各ト思テ正字通ニ引タリ
スヘキ字各ハ相承テ来ルヲモトミシテツレ 又引各ヲセテミシタルモノ
也字各ノ中ニ小補韻會ホト宜シキ各ハナシムツカシクスミヌ一ヲモ
カタ韻會ニテスミヤリ

一何大復文ハ後世ノ韓柳ニモ非ス前漢ノ文ヲ目アテ各タレトモヤ

ワラカナル文ナリ

一詩話モ宋人ノ話ヨリハ元人ノ詩話トシシ也詩モ元人ハ老杜ヲ似セタル歌行アリト也

一服子弱冠ノ時徂来ニ相見セス未タ學問ノ相談ヲセス中ニ杜律ヲヒタト好テ見タル故老杜ノ詩ノクセカ付テ杜律ノ中ノ惡キクセヲハナシヌヤウニ覺ルナリ隨分除クサレモハ残りテアルヤウナルトナリ

一子ヲ教ルニハトカク訓蒙図彙ナトヲ渡シテカタ一方ニ繪アリテ片ミニ文字アルナトニテ見ナラハセ面白ナルヤウニシテタイクツナキヤウニサスル一第ノ一ナリハツ九ツニモナラハ一字二字ツノ偏ツクリニテモ習セ此方ヨリセメテ読唇ナトメツタニサセトカク繪アル書物又ハ軍唇ナト見セテヒトリ唇物ヲ好ヤウニスルカ肝要ナリ十三四ニモナリテ少ツノ見識モ

出来タル時理窟アヒテモ云聞セヒトリテニ學問ニトリツクヘキヤウニスヘシ此方ヨリハリニセリツケテサスレハタイクツスル也草木ノ成長スル花ナトヲ先ツ折ルヤウニスルハヤクタイモナキ一也已ヒトリテ聞テ學問スルニナルヤウニシカクヘシ草木ノ繁茂スルヤウニ掛ヘキ一ナリ手習ナトサスルニモ心得アルヘシ神戸豫侯ノカタニ唐本一部具紙ノアイタニ唐人ノ童子ノ十字文ノ清唇入テアリワキニ某十歳ナトハ唇付テアリ師匠ト見ヘテ朱ニテヨキ字ニハ點ウチテアリ十字文ニ能唇ノ書タルカアリツレヲ見合セテ手本ニサセテ習スヘキ一也

